

令和6年度第1回南西部地域医療構想調整会議（令和6年8月26日(月)）

○ 議題

議題（1）第1回地域医療構想推進会議の主な意見について

議題（2）地域医療体制の推進に係る課題解決に向けた今年度の圏域における取組について

議題（3）病床整備の進捗状況について

議題（4）医療機関対応方針の協議・検証について

議題（5）令和6年度病床機能転換促進事業について

議題（6）令和4年度病床機能報告・定量基準分析について

議題（7）令和5年度外来機能報告の結果及び紹介受診重点医療機関について

○ 資料

議題（1）関係

- ・資料1 令和6年度第1回埼玉県地域医療構想推進会議（令和6年6月12日）主な意見

議題（2）関係

- ・資料2-1 圏域別フェイスシート（令和5年度版）
- ・資料2-2 地域医療体制の推進に係る課題解決に向けた今年度の圏域における取組

議題（3）関係

- ・資料3-1 病院整備計画の公募について
- ・資料3-2 地域医療構想調整会議用 病院整備計画の概要書
- ・資料3-3 病院整備計画の公募内容の変更について
- ・資料3-4 病院整備の進捗状況について（令和6年6月末時点）

議題（4）関係

- ・資料4-1 医療機関対応方針一覧【南西部医療圏】病院
- ・資料4-2 医療機関対応方針一覧【南西部医療圏】有床診療所

議題（5）関係

- ・資料5 令和6年度埼玉県病床機能転換促進事業の追加募集及び令和7年度事業の実施意向の調査について（依頼）

議題（6）関係

- ・資料6-1 令和4年度病床機能報告の定量基準分析結果について
- ・資料6-2 令和4年度病床機能報告 各医療機関からの報告内容と定量基準分析結果について
- ・資料6-3 令和4年度病床機能報告結果について（2025年必要病床数との比較等）
- ・資料6-4 医療機能別病床数の年度別推移について
- ・資料6-5 地域包括医療病棟入院料の取扱いについて（案）

議題（7）関係

- ・資料7 令和5年度外来機能報告結果・紹介受診重点医療機関一覧

令和6年度第1回埼玉県地域医療構想推進会議(令和6年6月12日) 主な意見

2025年に向けた各圏域の地域医療構想の進捗について

- 働き方改革のために、医師・看護師・医療スタッフの確保が非常に大切。県としての考えは。
⇒(県回答) 医師については地域枠・県外医学生の奨学金の2種類を設け県内への誘導を図っている。医師不足地域や産科小児・救急などの特定診療科へ勤務いただくこと等を条件に運用をしているが、令和5年度時点では135名が、県内で従事いただいている。令和6年度はさらに増える見込み。また義務年限従事の終了後も、どういった地域で勤務されているか把握に努めてまいりたい。看護師確保については、今年度の新事業として、ICT導入による業務改善を目指す病院へのアドバイザー派遣を行っている。特に200床以下の中小病院を対象に、業務改善を行うことで、看護業務の効率化及び負担軽減を図るような病院を支援していきたい。その他の看護師確保については、各養成校での運営費補助などを通じて、看護師養成につきましても支援を継続していきたい。
- 医師・看護師のみならず、介護士も一層足りない。埼玉県における介護人材の確保はこれから一層喫緊の課題になると思うので、新しい地域医療構想の中に盛り込んでほしい。
- 診療科の偏在、特に外科の専攻医が非常に少ない。現在の医師臨床研修制度は小児科・産科の特別プログラム中心だが、今年3月の医療審議会(医師分科会医師臨床研修部会)の報告書を見ると、「都道府県において、医師が不足している診療科の研修を重点的に行う研修プログラムへの変更を可能とすること」とされている。是非、外科特別プログラムというものをやってほしい。
- 外科の先生は手術以外の仕事をやりすぎている気がする。例えば、術後管理は内科やホスピタルリストが担うような体制ができれば少し改善していくのではないか。
- 昨今は女性医師が増えているが、現状はキャリアのピークで現場から離れてしまう。女性医師が診療の現場に出ていけるような環境整備が必要。

新たな地域医療構想について

- 今までの地域医療構想は病床の機能分化とか、在宅慢性期医療の在り方が中心。今後は、地域包括ケアの深化、地域共生社会ということ考えると「まちづくり」と連動する形で動いた方がいいと考える。さいたまスーパーシティプロジェクトの取組と連動する形で、医療・介護・福祉が入っていくことが理想である。
- 今後、高齢者が増えてくるが、医療機関だけではなくインフラの整備だとか、そういったところも含めて検討されるべきだと考える。埼玉県全体というよりは、東西南北で分けるなど、まちづくりを見据えて検討してほしい。
- 認知症基本法の施行を受け、さいたま市では「認知症まちづくりフレンドリーセンター」を作り、地域包括支援センターや地域企業と連携した取組を行っている。今後の認知症施策の参考としてほしい。
- 次期構想の名称は、「地域医療介護構想」とするなど、医療だけでなく介護も関係することが明確とするよう、県から国へ提案してほしい。

令和6年度の地域医療構想の取組について

- 「推進区域」の設定と対応方針の策定について、2025年が来年に迫っている中で、どこまで意味があるのかという面もある。策定するのであれば2025年以降を見据えたものを作る必要があるのではないかと。該当圏域である北部圏域と丁寧調整のうえ対応方針の策定を進めてほしい。
- 北部圏域、特に本庄児玉地区の患者は、群馬県への流出が避けられない。推進区域の議論は隣接する群馬県とも連携しながら進めてほしい。
- 現在、国で次期構想の取組が議論されており、関係者へのヒアリングも始まっている。今後、国は秋に意見をとりまとめ、来年度にガイドラインを発出するとされているが、各圏域では、今の構想は来年で終了、ということではなく、次の構想につながるような議論を進めてもらいたい。県には今年度のうちから、ぜひ次期構想も見据えた協議を各圏域の地域医療構想調整会議で行ってほしい。

第8次地域保健医療計画の策定及び同計画に基づく病院整備計画について

- 病床公募を行うにあたって、募集する法人の財務状況は確認しているのか。
⇒(県回答) 法人の内部資料なので地域医療構想調整会議には示していないが、事前相談の段階で事務局において確認をしている。

埼玉県病床機能転換促進事業について

- 回復期だけではなく、慢性期への転換にも活用できるようにしてほしい。また、今回の診療報酬改定で追加された地域包括医療病棟への活用も検討してほしい。

その他

- 医師の働き方改革により、地域医療が以前に比べてうまく回っていないところがあるという声を伺っている。次の会議では県内の状況を教えてほしい。
- 外科医不足の話に関連して、地域医療構想では回復期・慢性期の不足の話があるが、埼玉県はこれから急性期が必要な部分もあり、そういった人材を掘り起こしていく必要もあることを、国に提言してほしい。
- 医師の働き方改革が始まり、昨年度まではA水準でやれると思っていたが、やはりBやC水準を取りたいという医療機関が出てくるのではないかと懸念している。県は医療機関の動向を注視していただきたい。
- さいたま圏域が「外来医師多数区域」となり、新規開業医に協力を呼びかける「不足する外来医療機能」は、夜間や休日診療等の初期救急医療、在宅医療(往診・訪問診療)、介護認定審査となった。現在、医師会で地域開業医の方に働きかけても、この辺がなかなか協力いただけない。県は新規開業者への不足する外来医療機能の実施の協力依頼を通じ、働きかけを継続してほしい。

圏域別フェイスシート

(令和5年度版)

南西部保健医療圏

【南西部保健医療圏】（令和5年度版）

【埼玉県の基本データ】 <2020年> 令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年(2020年)10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計) 国立社会保障・人口問題研究所 <出生数、死亡数> 令和4年人口動態調査 埼玉県各市町村別将来人口推計ツール(埼玉県統計課)			
	2020年	2025年推計	2040年推計
人口総数	7,344,765人	7,316,411人	6,952,930人
人口増減率	2015→2020 1.1%	2020→2025 ▲0.4%	2025→2040 ▲5.0%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	872,859人(11.9%)	807,027人(11.0%)	713,621人(10.3%)
15～64歳	4,488,130人(61.1%)	4,472,309人(61.1%)	3,923,681人(56.4%)
65歳～ (うち75歳～)	1,983,776人(27.0%) (994,346人(13.5%))	2,037,075人(27.9%) (1,210,504人(16.5%))	2,315,628人(33.3%) (1,259,186人(18.1%))
出生数(前5年計)	(2015～2020年)265,140人	(2020～2025年)245,078人	(2025～2040年)233,354人
死亡数(前5年計)	(2015～2020年)335,423人	(2020～2025年)404,491人	(2025～2040年)534,459人
保健所			
市町村			

【南西部圏域の基本データ】 <2020年> 令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年(2020年)10月 <2025年、2040年> 日本の地域別将来推計人口(令和5年(2023年)推計) 国立社会保障・人口問題研究所 <出生数、死亡数> 令和4年人口動態調査 埼玉県各市町村別将来人口推計ツール(埼玉県統計課)			
	2020年	2025年推計	2040年推計
人口総数	730,325人	735,531人	732,965人
人口増減率	2015→2020 2.9%	2020→2025 0.7%	2025→2040 ▲0.3%
年齢3区分別人口	人口に占める割合	人口に占める割合	人口に占める割合
0～14歳	94,068人(12.9%)	89,008人(12.1%)	84,302人(11.5%)
15～64歳	462,389人(63.3%)	469,801人(63.9%)	431,876人(58.9%)
65歳～ (うち75歳～)	173,868人(23.8%) (91,311人(12.5%))	176,722人(24.0%) (108,167人(14.7%))	216,787人(29.6%) (111,681人(15.2%))
出生数(前5年計)	(2015～2020年)30,062人	(2020～2025年)28,101人	(2025～2040年)29,449人
死亡数(前5年計)	(2015～2020年)28,843人	(2020～2025年)35,492人	(2025～2040年)47,648人
保健所	朝霞保健所		
市町村	朝霞市・新座市・和光市・志木市・ふじみ野市・富士見市・三芳町		

地域医療提供体制の推進に係る課題

◆ 入院患者の受療動向

厚生労働省の患者調査によれば、南西部圏域の入院患者の受療動向は、流出超過となっている。当圏域は都内への流出のみならず、県内他圏域への流出が多いのが特徴的である。

これは、南西部地域の一部である富士見市、ふじみ野市、三芳町の2市1町が川越地区（川越市、川島町）と救急医療圏を同じにしており、入院患者の搬送先が自然と他圏域になることが原因の一つとなっている。

◆ 病床数について

南西部圏域の許可等病床数は、令和5年度時点で必要病床数を満たしている。

医療機能別に見ると、「病床機能報告」ベースでは急性期機能が過剰で、回復期機能に不足が見込まれている。しかし、「定量基準分析結果」によれば、高度急性期、急性期、回復期、慢性期ともに2025年に必要とする病床を概ね確保できている。

南西部地域の病床利用率は、一般病床及び療養病床ともに県平均を大きく上回っている。

◆ 外来機能について

朝霞地区（朝霞市・新座市・志木市・和光市）では、初期救急、在宅医療、介護認定審査にやや不足感がある。

東入間地区（富士見市・ふじみ野市・三芳町）では、初期救急、在宅医療、公衆衛生（学校医）にやや不足感がある。

◆ 新興感染症対応に係る医療（入院、外来、在宅）及び保健所の機能連携が必要である。

参考データ（在宅医療）

厚生労働省関東信越厚生局「施設基準届出受理機関名簿」

	2016年4月1日	2023年12月1日
【埼玉県】		
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等 医学総合管理料届出医療機関数	751 (人口10万人当たり) (10.25)	903 (人口10万人当たり) (12.32)
【南西部圏域】		
在宅時医学総合管理料及び施設入居時等 医学総合管理料届出医療機関数	48 (人口10万人当たり) (6.70)	56 (人口10万人当たり) (7.64)

2025年に向けて圏域が目指す姿

南西部圏域では病床4機能が概ね適切に配分されているとともに、高い病床利用率となっている。引き続き他圏域の病床も利用しつつ、疾病の発症により必要に応じて高度急性期、急性期、回復期、慢性期、在宅医療等まで、質が高く効率的な医療体制を整備する。

現状では必要病床数を満たしていることから、継続的に未稼働病床のある医療機関については適切な規模まで病床を減少し、圏域内で未稼働病床を有効活用するための調整を行う。

新規及び既存の医療機関に対して、地域で不足する外来医療機能の情報提供、協力依頼を行い、安全安心な医療提供体制の充実・確保を目指す。

新興感染症対応に係る医療連携体制の構築を目指す。

地域医療体制の推進に係る課題解決に向けた今年度の圏域における取組

資料2-2

第1回 地域医療構想調整会議 (8月~9月)

- ① 圏域別フェイスシート(令和5年度更新)の課題
- ② 地域医療における連携に関するアンケート調査と議論の進め方
- ③ 地域包括ケアシステムの推進に向けた今年度の取組

9月~10月 アンケート調査 (※調整中の案)

対象 全病院、全有床診療所

方法 メールまたは郵送で依頼し、メールで回答を受付

第2回 地域医療構想調整会議 (11月~12月)

- ① アンケート調査結果報告
- ② 現状に係る課題等について

第3回 地域医療構想調整会議 (2月~3月)

令和6年度 of 取組総括

<報道発表資料>

カテゴリー:募集

令和 6年 6月 5日

病院整備計画の公募について

地域の実情に応じた質が高く効率的な医療提供体制を目指すため、埼玉県地域保健医療計画（第8次）に基づき、埼玉県地域医療構想において不足が推計されている医療機能など医療課題に対応する病院（有床診療所を含む。）の整備計画を募集します。

1 公募対象の医療圏と病床数

公募の対象となる医療圏は許可病床数（整備予定病床数を含む。）が2025年（令和7年）における必要病床数を下回る「南部」、「東部」、「県央」、「川越比企」、「西部」の5保健医療圏です。

また、公募の対象となる病床数は次のとおりです。

二次保健医療圏	公募対象病床数
南部	160
東部	142
県央	26
川越比企	254
西部	70
合計	652

2 募集する医療機能

公募対象とする医療機能は以下のとおりです。

(1) 埼玉県地域医療構想において不足が推計されている医療機能を担う病床

二次保健医療圏	医療機能
南部	高度急性期機能
東部	高度急性期機能、回復期機能（地域包括ケア）、慢性期機能
県央	回復期機能
川越比企	回復期機能
西部	回復期機能、慢性期機能

- (2) その他、埼玉県地域保健医療計画の実現に向けて必要な病床
(がん・脳卒中・心血管疾患に対応する高度専門医療、救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療、感染症医療、在宅医療 等)

3 応募条件

2025年度(令和7年度)までに着工すること。

4 県による病院整備計画の採択決定について

- (1) 地域医療構想調整会議における協議(応募医療機関の出席と説明、協議)
(2) 地域医療構想調整会議の委員による審査
(評価項目)
①計画の妥当性: 病床の稼働状況(病床利用率)、患者の受入れの見込みなど
②計画の実現性: 医療従事者の確保計画や整備スケジュールなど
(3) 上記(2)を参考にして作成した採択案を埼玉県医療審議会へ諮問

5 スケジュール

時期	事項
令和6年6月5日(水)	病院整備計画公募の告知
令和6年9月2日(月)～10月31日(木)	病院整備計画の受付
令和6年11月～12月(予定)	地域医療構想調整会議(部会含む) (応募医療機関の出席と説明、協議)
令和7年1月(予定)	採択案を埼玉県医療審議会へ諮問
令和7年2月(予定)	採択する病院整備計画の決定

6 病院整備計画の申出に係る手続

- (1) 令和6年2月～3月に開催された地域医療構想調整会議における協議の状況及び会議後の追加意見を踏まえ、病院整備計画を作成してください。
(2) 病院整備計画公募の告知日から受付期限までの間に、埼玉県医療整備課まで御連絡の上、病院整備計画の事前相談を受けてください。
(3) 上記(1)の地域医療構想調整会議における協議の状況及び会議後の追加

意見や、病院整備計画の提出方法等詳細については埼玉県のホームページをご覧ください。

URL : <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/koubo/koubo06.html>

【地域医療構想調整会議用】病院整備計画の概要書

- 1 医療機関の名称・所在地・所在二次保健医療圏
- 2 開設者の名称・所在地（個人開設の場合、所在地は市町村名を記載）
- 3 医療機関の現状

病床数

病床機能区分	病床種別	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数
計				

病床利用率（平均）

一般病床	療養病床	地域包括ケア病床	回復期リハビリテーション病床

4 開設等の目的、整備方針、必要性、地域医療構想調整会議の議論との整合性

当該二次保健医療圏における当該整備計画に係る医療の現状と課題、令和6年2月～3月に開催された地域医療構想調整会議における協議の状況及び会議後の追加意見を踏まえた開設等の目的、増床の必要性、開設等により改善される見込み等を記載してください。

※以下については記載内容に必ず盛り込んでください。

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み（増床の必要性）

○新たに整備する病床が担う予定の病床機能、医療機能と地域医療構想における当該二次保健医療圏の病床の機能区分ごとの将来の病床の必要量との関係性

○整備を計画している圏域における地域医療構想調整会議の議論との整合性

5 開設等の計画の具体的内容

(1) 整備する病床の機能・数 整備計画病床 床

病床機能区分*1	医療機能*2	病床種別	入院基本料 特定入院料	病床数
計	—	—	—	

*1 高度急性期、急性期、回復期、慢性期のいずれかの病床機能を記載

*2 がん医療、脳卒中医療、心血管疾患医療、救急医療、災害時医療、周産期医療、小児医療、感染症医療、在宅医療など整備する病床が担う医療機能を記載

(2) 整備する病床数の根拠

①病床数の考え方

客観的データを用いた積算根拠（例：対象入院待機患者数×平均在院日数÷365）を記載してください。

○想定する疾患や診療科、院内：院外割合などを具体的に記載してください。

○地域包括ケア病床を希望する場合は、自院が担う役割について、一般社団法人地域包括ケア病棟協会が定義する4つ医療機能（①ポストアキュート機能②在宅等緊急受入機能③在宅等予定受入機能④在宅復帰支援機能）を記載してください。

②-1 増床する病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
●●病棟	床	(例) 回復期	/	/
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	(例) 地域包括ケア病棟入院料1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	/	/
	一般/療養	入院基本料・特定入院料		
診療科 ●●科、●●科、・・・				
患者の受入見込み (※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入してください。)				
【増床前】 (例) ●●病院から年間●●人（ %） 自院から年間●●人（ %） ●●診療所（自宅）から年間●●人（ %） ●●施設から年間●●人（ %） 訪問診療を行う患者数 年間●●人 分娩取扱件数 年間●●人		【増床後】 (例) ●●病院から年間●●人（ %） 自院から年間●●人（ %） ●●診療所（自宅）から年間●●人（ %） ●●施設から年間●●人（ %） 訪問診療を行う患者数 年間●●人 分娩取扱件数 年間●●人		

医療（介護）連携見込み （※具体的に記入してください。）	
【増床前】 ○紹介元：●●病院、●●診療所、●●施設、… ○紹介先：●●病院、●●診療所、●●施設、…	【増床後】 ○紹介元：●●病院、●●診療所、●●施設、… ○紹介先：●●病院、●●診療所、●●施設、…

②-2 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
●●病棟	床	(例) 急性期	日	%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	(例) 急性期一般入院料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料		
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
	床	期	日	%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料		
診療科 ●●科、●●科、・・・				
診療実績 （※整備する病床に関連する実績を記載してください） ○手術の実施状況、がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療状況、重症患者への対応状況、救急医療の実施状況、全身管理の状況など（急性期）				

○急性期後の支援・在宅復帰への支援の状況、全身管理の状況、疾患に応じたリハビリテーション・早期からのリハビリテーションの実施状況など（回復期）

③ 医療（介護）連携における課題・問題点と対応

○急性期医療機関：「出口」となる医療機関は充足されているか
 ○回復期、慢性期医療機関：在宅医療連携拠点、市町村、ケアマネージャーとの連携状況、待機患者の状況、在宅・介護施設への移行は円滑に行われているか、等
※地域包括ケア病床を希望する場合は、平時からの介護保健施設等との連携の状況や見込みについて具体的に記載してください。

(3) 計画敷地

	面積	取得予定時期	取得状況	備考
取得済	m ²		所有・借地	
仮契約済	m ²		所有・借地	
取得予定	m ²		所有・借地	
計	m ²			
取得見込等 (取得予定の場合)	取得見込（地権者との交渉状況等）、取得時期、農地法、都市計画法等許可の必要性の有無・協議状況等を記載してください。 <u>※以下については記載内容に必ず盛り込んでください。</u> <u>○整備を計画する市町村の都市計画関係部署に、関係法令上の許可申請等の手続の見込みについて事前に確認した状況について記載してください。</u>			

(4) 計画建物

工事種別	新築・増築・改修・その他（ ）
概要	概要を簡潔に記載してください。

(5) 医療従事者（※確保予定の人員には、増員となる人数を記載してください。）

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師						
看護師						
准看護師						
看護補助者						
理学療法士						
言語聴覚士						
作業療法士						
その他						
計						

確保状況・確保策、確保スケジュール

<p><u>(※上表の医療従事者の確保策と確保スケジュールを具体的に記載してください。)</u></p> <p><u>【医師】</u></p>

<p><u>【看護師】</u></p> <p><u>【リハビリ職】</u></p> <p><u>【その他】</u></p>

(6) スケジュール

No.	項目	計画年月	備考
1	開設（変更）許可（医療法）	年 月	
2	建築（着工）	年 月	
3	建築（竣工）	年 月	
4	医療従事者の確保	年 月	
5	使用許可（医療法）	年 月	
6	開設（増床）	年 月	

* 計画年月の表記は「和暦」で記載すること。

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和 6年 8月 2日

病院整備計画の公募内容の変更について

病院整備計画の公募については、令和6年6月5日に公表したところですが、過去に採択しました病院整備計画の中止（1病院）に伴い、公募内容の一部を変更しましたのでお知らせします。

1 変更内容

中止となった病院整備計画（整備予定地：越谷市）に係る病床数172床について、東部医療圏における公募対象病床数（142床）に付加し、314床に変更します。変更前後の公募対象病床数は次のとおり。

二次保健医療圏	公募対象病床数	
	変更前	変更後
南部	160	160
東部	142	314
県央	26	26
川越比企	254	254
西部	70	70
合計	652	824

※ その他募集する医療機能、応募条件、申出手続及び病院整備計画の受付期間（9月2日～10月31日）を含む公募のスケジュールに変更はありません。

2 参考

- 病院整備計画の公募について（令和6年6月5日付け公表）
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/news/page/news2024060502.html>
- 第2回埼玉県医療審議会について（令和6年7月24日付け書面開催）
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/iryoushinigikai/r6iryoushingikai.html>

病床整備の進捗状況について(令和6年6月末時点)

【6次】

医療圏	医療機関名	所在地	計画*	整備病床	主な病床機能	着工済	開設済	開設予定年月
1 東部	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院	越谷市	6次	200	救急、神経難病等			令和8年3月
	東部 計			200				
2 さいたま	(仮)順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター	緑区	6次	800	高度専門医療			令和9年11月
	さいたま 計			800				
計				1,000				

【7次】

医療圏	医療機関名	所在地	計画※	整備病床	主な病床機能	着工済	開設済	開設(予定)年月
3	かわぐちレディースクリニック	川口市	7次	12	周産期	○	○	令和2年4月
4	川口きゅうぼろリハビリテーション病院	川口市	7次	180	回復期リハ・地域包括ケア等	○	△	令和5年8・11・12月、6年2・4・5月、7年4月
5	ふれあい生協病院	川口市	7次	25	地域包括ケア	○	○	令和5年8月
6	安東病院	川口市	7次	7	地域包括ケア	○	○	令和4年8月
7	かわぐち心臓呼吸器病院	川口市	7次	20	心血管疾患			調整中
8	公平病院*	戸田市	7次②	28	地域包括ケア・緩和ケア			令和8年9月
9	はとがや病院*	川口市	7次②	60	地域包括ケア・療養			令和7年8月
10	川口さくら病院	川口市	7次②	50	救急医療・地域包括ケア・回復期リハ	○	○	令和6年2月、令和6年4月
11	(仮)川口北部リハビリテーション病院	川口市	7次②	40	回復期リハ			令和8年3月
12	ふれあい生協病院	川口市	7次②	1	地域包括ケア	○	○	令和5年8月
13	埼玉協同病院	川口市	7次②	4	救急医療	○	○	令和5年8月
14	公平病院	戸田市	7次③	24	地域包括ケア			令和8年9月
南部 計				451			136	

医療圏	医療機関名	所在地	計画※	整備病床	主な病床機能	着工済	開設済	開設(予定)年月
南西部	堀ノ内病院	新座市	7次	10	地域包括ケア	○	○	令和元年5月
	さくら記念病院	富士見市	7次	32	地域包括ケア	○	○	令和2年5月
	和光リハビリテーション病院	和光市	7次	36	回復期リハ	○	○	令和4年4月
	三芳野病院	三芳町	7次	12	地域包括ケア	○	○	令和元年12月
	ふじみの救急病院	三芳町	7次	19	救急(脳卒中)	○	○	令和2年12月
	朝霞台駅前みなみ耳鼻咽喉科	朝霞市	7次	3	救急(耳鼻科)	○	○	令和2年2月
	TMGあさか医療センター	朝霞市	7次②	8	がん医療・小児医療	○	○	令和6年2月
	塩味病院	朝霞市	7次②	23	地域包括ケア・回復期リハ			令和7年5月
	富家病院	ふじみ野市	7次②	20	地域包括ケア			令和7年4月
	ふじみの救急病院	三芳町	7次②	1	救急医療	○	○	令和5年4月
	埼玉セントラル病院	三芳町	7次②	13	回復期リハ・療養	○	○	令和5年6月
南西部 計				177			126	
東部	武里病院	春日部市	7次	46	在宅療養後方支援	○	○	令和2年6月
	リハビリテーション天草病院	越谷市	7次	4	回復期リハ	○	○	平成31年3月
	永井マザーズホスピタル	三郷市	7次	5	周産期	○	○	令和元年7月
	しらみず産婦人科クリニック	越谷市	7次	14	周産期	—	—	計画中止
	三愛会総合病院	三郷市	7次	96	救急・地域包括ケア	○	○	令和4年11月
	慶和病院	越谷市	7次	40	地域包括ケア	—	—	計画中止
	(仮)埼玉越谷病院	越谷市	7次	31	地域包括ケア	—	—	計画中止
	みさと健和病院	三郷市	7次	20	地域包括ケア			令和7年11月
	鳳永病院	草加市	7次	10	回復期リハ			令和8年3月
	春日部さくら病院	春日部市	7次②	15	療養	○	○	令和5年11月
	春日部厚生病院	春日部市	7次②	59	地域包括ケア・回復期リハ			令和8年3月
	埼玉草加病院	草加市	7次②	10	地域包括ケア			令和6年12月
	(仮)AOI吉川病院	吉川市	7次②	224	救急医療・地域包括ケア・療養			令和8年3月
	北辰病院	越谷市	7次②	15	緩和ケア	—	—	計画中止
	新越谷病院	越谷市	7次②	121	地域包括ケア・回復期リハ・療養			令和8年3月
	(仮)タムス越谷病院	越谷市	7次②	172	地域包括ケア・回復期リハ	—	—	計画中止
	埼玉東部循環器病院	越谷市	7次②	12	心血管疾患			令和7年9月
	(仮)越谷北部病院 ⇒ (仮)荻島あかり病院	越谷市	7次②	135	療養			令和8年1月
湖街ホスピタル	越谷市	7次②	56	回復期リハ	○	○	令和6年2月	
東部 計				1085			166	

医療圏	医療機関名	所在地	計画※	整備病床	主な病床機能	着工済	開設済	開設(予定)年月
45	伊奈病院	伊奈町	7次	30	地域包括ケア	○	○	令和5年8月
46	埼玉脳神経外科病院	鴻巣市	7次	19	救急・回復期リハ	○	○	令和3年6月
47	埼玉脳神経外科病院	鴻巣市	7次②	8	救急医療・回復期リハ	○	○	令和5年8月
48	こうのす共生病院	鴻巣市	7次②	6	地域包括ケア	○	○	令和5年11月
49	鈴木眼科	北本市	7次②	3	有床診療所	○	○	令和5年6月
50	こうのす共生病院	北本市	7次③	8	救急医療			令和6年11月
	県央 計			74			66	
51	丸木記念福祉メディカルセンター	毛呂山町	7次	50	地域包括ケア	○	○	令和元年10月
52	笠幡病院	川越市	7次	15	緩和ケア	—	—	計画中止
53	愛和病院	川越市	7次	6	周産期	○	○	令和2年2月
54	三井病院	川越市	7次	50	地域包括ケア	○	○	令和4年10月
55	東松山市立市民病院	東松山市	7次	36	救急医療	○	○	令和5年7月、令和6年4月
56	埼玉成恵会病院	東松山市	7次②	28	地域包括ケア			令和7年4月
57	菅野病院*	坂戸市	7次②	25	地域包括ケア・療養			令和9年12月
58	若葉病院	坂戸市	7次③	8	療養	○		令和6年7月
59	菅野病院	坂戸市	7次③	8	療養			令和9年12月
60	(仮)富家療養病院 ⇒ (仮)富家川越病院	川越市	7次③	120	療養			令和9年9月
61	(仮)しらすき川越病院	川越市	7次③	21	地域包括ケア			令和7年8月
	川越比企 計			367			118	
62	埼玉医科大学国際医療センター	日高市	7次	56	がん医療	○	○	令和4年6月
63	武蔵台病院	日高市	7次	6	回復期リハ	○	○	令和元年8月
64	並木病院	所沢市	7次	3	地域包括ケア	○	○	令和元年6月
65	圏央所沢病院	所沢市	7次	45	地域包括ケア・在宅療養後方支援	○	○	令和4年5月
66	北所沢病院	所沢市	7次	35	地域包括ケア	○	○	令和4年10月
67	所沢リハビリテーション病院	所沢市	7次	30	回復期リハ	○	○	令和4年4月
68	豊岡整形外科病院	入間市	7次	12	地域包括ケア	○	○	令和2年4月
69	さやま地域ケアクリニック	狭山市	7次	19	在宅療養支援	○	○	令和3年8月
70	所沢美原総合病院	所沢市	7次②	60	脳卒中・心血管疾患・がん医療・救急医療	○	○	令和5年11月
71	所沢白翔会病院	所沢市	7次②	128	救急医療・地域包括ケア・回復期リハ	○		令和6年9・12月、令和7年4月
72	明生リハビリテーション病院	所沢市	7次②	9	回復期リハ	○	○	令和5年10月
73	新所沢清和病院	所沢市	7次②	20	療養			令和7年4月
74	圏央所沢病院	所沢市	7次②	28	回復期リハ	○	○	令和5年11月

医療圏	医療機関名	所在地	計画※	整備病床	主な病床機能	着工済	開設済	開設(予定)年月
75	西部	埼玉石心会病院	狭山市	7次②	20	救急医療	○	令和7年4月
76		豊岡整形外科病院	入間市	7次②	6	地域包括ケア	○	令和5年10月
77		旭ヶ丘病院	日高市	7次②	57	地域包括ケア・回復期リハ		令和8年3月
西部 計					534		309	
78	利根	新久喜総合病院	久喜市	7次	91	高度専門医療	○	令和3年4月
79		羽生総合病院	羽生市	7次	80	回復期リハ、地域包括ケア、救急医療	○	令和6年4月
80		パーク病院	白岡市	7次	20	在宅療養支援	○	令和3年4月
81		東埼玉総合病院	幸手市	7次	16	地域包括ケア	○	令和3年12月
利根 計					207		127	
計					2,895		1,048	

6次	1,000	未開設	2	1,000床
7次	1,241	開設済み	31	911床
		一部開設済み	1	130床
		未開設(延数)	4	100床
		計画中止	4	100床
7次②	1,465	開設済み	15	268床
		未開設	17	1,010床
		計画中止	2	187床
7次③	189	開設済み	0	0床
		未開設	6	189床
		計画中止	0	0床

* 6次: 令和6年3月末時点で未開設の第6次地域保健医療計画に基づく公募による整備予定病床

* 7次: 第7次地域保健医療計画に基づく公募(H30年度実施)による整備(予定)病床

* 7次②: 第7次地域保健医療計画の変更に基づく公募(令和4年度実施)による整備(予定)病床

* 7次③: 第7次地域保健医療計画の変更に基づく公募(令和5年度実施)による整備予定病床

* 第2はとがや病院に係る整備予定病床を含む(令和5年8月22日南部地域医療構想調整会議において病院整備計画の計画変更の協議済)

* 公平病院及び菅野病院の整備計画(7次②分)は、令和5年度公募(7次③分)で一体的な整備計画として採択したため、条件は「令和7年度着工」に変更

* 開設済欄「△」(一部開設)内容: 川口きゆうぼらりハピリテーション病院130床

医療機関対応方針一覧【南西部医療圏 病院】

資料4-1

【南西部医療圏】病院

医療機関		①医療機能ごとの病床数								備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割										
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計		(1)貴医療機関の役割、機能										
										高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期リハビリテーション機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他	備考	
名称	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	R5.7.1	110	316					446	・第7次公募(R4):8床増床	R4.7.1		○				○	○			
開設者	医療法人社団武蔵野会	2025年予定	110	324	20				454		2025年予定		○					○	○		
所在地	朝霞市溝沼1340-1	変更増減	0	8	0	0	0	0	8												
名称	朝霞厚生病院	R5.7.1		38					85		R4.7.1		○				○				
開設者	一般財団法人関東厚生福祉会	2025年予定		38					85		2025年予定		○					○			
所在地	朝霞市浜崎703	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
名称	医療法人山柳会塩味病院	R5.7.1		44	33				77	・第7次公募(R4):23床増床 ・転換予定(急性期一回復期) (R5.12:9床)(R7.3:5床)	R4.7.1										
開設者	医療法人山柳会	2025年予定		30	70				100		2025年予定										
所在地	朝霞市溝沼2-4-1	変更増減	0	▲14	37				23												
名称	医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	R5.7.1		60	40				100	当院は回復期リハビリテーション病棟 40床、透析ベッド 13床、ドック健診センターを有しております。人工透析を導入されている患者様もリハビリテーションが受けられます。	R4.7.1		○	○	○	○		○	○		
開設者	医療法人社団武蔵野会	2025年予定		60	40				100		2025年予定		○	○	○	○		○	○		
所在地	志木市上宗岡5-14-50	変更増減	0	0	0	0	0	0	0			小児医療は外来のみ提供									
名称	医療法人社団浅野病院	R5.7.1						98	98	療養病床98床	R4.7.1							○			
開設者	医療法人社団浅野病院	2025年予定						98	98		2025年予定							○			
所在地	志木市本町6-24-21	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
名称	坪田和光病院	R5.7.1		51					51		R4.7.1										
開設者	医療法人社団坪田会	2025年予定		51					51		2025年予定										
所在地	和光市白子2-12-15	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
名称	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	R5.7.1	66	480					546	救命救急センター、災害拠点病院、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院【公的医療機関等2025プラン】策定(感染症4床)	R4.7.1										
開設者	独立行政法人国立病院機構	2025年予定	66	480					546		2025年予定										
所在地	和光市諏訪2-1	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
名称	医療法人寿鶴会普野病院	R5.7.1			28	92			120	療養病床92床(精神280床) 当院は一般科と精神科を標榜する医療機関であるが、5疾病、5事業における認知症患者は一般病床・療養病床では徘徊などがあることから入院ができず、主に精神科病棟に於いて受け入れており、内科的治療が必要な合併症患者が大半を占める。	R4.7.1			○	○		○				
開設者	医療法人寿鶴会	2025年予定			28	92			120		2025年予定			○	○		○				
所在地	和光市本町28-3	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
名称	医療法人泰一会和光リハビリテーション病院	R5.7.1			60				60	療養病床60→79床 ・第7次公募(R1):36床増床(うち17床開設済)	R4.7.1										
開設者	医療法人泰一会	2025年予定			79				79		2025年予定										
所在地	和光市中央2-6-75	変更増減	0	0	19	0	0	0	19												
名称	堀ノ内病院	R5.7.1		161	38				199		R4.7.1		○	○	○		○				
開設者	社会医療法人社団堀ノ内病院	2025年予定		161	38				199		2025年予定		○	○	○		○				
所在地	新座市堀ノ内2-9-31	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
名称	北野病院	R5.7.1				148			148	療養病床148床	R4.7.1										
開設者	医療法人昭仁会	2025年予定				148			148		2025年予定										
所在地	新座市北野2-14-8	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
名称	医療法人社団武蔵野会新座病院	R5.7.1			128				128	療養病床96床	R4.7.1			○	○	○		○			
開設者	医療法人社団武蔵野会	2025年予定			128				128		2025年予定			○	○	○		○			
所在地	新座市堀ノ内3-14-30	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												
名称	静風荘病院	R5.7.1				124			124		R4.7.1						○	○	○		
開設者	一般財団法人野中東皓会	2025年予定				124			124		2025年予定						○	○	○		
所在地	新座市堀ノ内1-9-28	変更増減	0	0	0	0	0	0	0												

【南西部医療圏】病院

医療機関		①医療機能ごとの病床数									備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割											
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計	(1)貴医療機関の役割、機能													
名称	開設者	所在地	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計	備考	高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期リハビリテーション機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他	備考	
医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	医療法人社団武蔵野会	新座市東北1-7-2	8	248	86	34	26			402	非稼働病床は、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入を行うための休床。この地域としては、ベッドがなく救急を断っている現状があり、当院としては、後方ベッドへのスムーズな転院が可能な体制があれば現在の慢性期病床を急性期としての運用を検討していきたい。	R4.7.1	○	○	○	○	○						
開設者	2025年予定		12	270	86	34	0			402		2025年予定	○	○	○	○	○						
所在地	変更増減		4	22	0	0	▲26	0	0	0													
医療法人向英会高田整形外科病院	医療法人向英会	新座市野火止6-5-20		40						40		R4.7.1											
開設者	2025年予定			40						40		2025年予定											
所在地	変更増減		0	0	0	0	0	0	0	0													
医療法人さくら さくら記念病院	医療法人さくら	富士見市水谷東1-28-1		136						136		R4.7.1		○	○	○		○					
開設者	2025年予定			136						136		2025年予定		○	○	○		○					
所在地	変更増減		0	0	0	0	0	0	0	0													
医療法人恵愛会恵愛病院	医療法人恵愛会	富士見市針ヶ谷526-1		60						60		R4.7.1											
開設者	2025年予定			60						60		2025年予定											
所在地	変更増減		0	0	0	0	0	0	0	0													
みずほ台病院	医療法人橘会	富士見市西みずほ台2-9-5		60						60		R4.7.1											
開設者	2025年予定			60						60		2025年予定											
所在地	変更増減		0	0	0	0	0	0	0	0													
医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	医療法人財団明理会	富士見市鶴馬1967-1	30	271	40					341	・周産期棟増築により、分娩を開始(産後ケアを含む) ・脳血管内治療科の開始	R5.7.1		○			○	○	○	○			
開設者	2025年予定		23	284	34					341		2025年予定	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
所在地	変更増減		▲7	13	▲6	0	0	0	0	0													
医療法人社団サンセリテ三浦病院	医療法人社団サンセリテ	富士見市下南畑3166				54	5			59		R4.7.1						○			○		
開設者	2025年予定					59	0			59		2025年予定						○			○		
所在地	変更増減		0	0	0	5	▲5	0	0	0													
医療法人誠壽会上福岡総合病院	医療法人誠壽会	ふじみ野市福岡931		239		45				284	療養病床45床	R4.7.1		○	○	○	○	○			○		
開設者	2025年予定			239		45				284		2025年予定		○	○	○	○	○			○		
所在地	変更増減		0	0	0	0	0	0	0	0													
医療法人社団草芳会三芳野第2病院	医療法人社団草芳会	ふじみ野市大原2-1-16		45						45		R4.7.1											
開設者	2025年予定			45						45		2025年予定											
所在地	変更増減		0	0	0	0	0	0	0	0													
富家病院	医療法人社団富家会	ふじみ野市亀久保2197			59	202				261	療養病床142床 ・第7次公募(R4):20床増床	R4.7.1			○	○	○	○	○			○	
開設者	2025年予定			79	202					281		2025年予定			○	○	○	○	○				○
所在地	変更増減		0	0	20	0	0	0	0	20													
医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	医療法人財団明理会	入間郡三芳町上富2177-2			48	202				250	療養病床202床 (精神200床) ・第7次公募(R4):13床増床	R4.7.1					○	○	○				
開設者	2025年予定			49	214					263		2025年予定					○	○	○				
所在地	変更増減		0	0	1	12	0	0	0	13													
医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	医療法人社団明芳会	入間郡三芳町藤久保974-3	18	209		46				273		R4.7.1											
開設者	2025年予定		18	209		46				273		2025年予定											
所在地	変更増減		0	0	0	0	0	0	0	0													
医療法人社団草芳会三芳野病院	医療法人社団草芳会	入間郡三芳町北永井890-6		109						109		R4.7.1											
開設者	2025年予定			109						109		2025年予定											
所在地	変更増減		0	0	0	0	0	0	0	0												透析医療	

【南西部医療圏】病院

医療機関		①医療機能ごとの病床数								備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割												
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計		(1)貴医療機関の役割、機能												
名称											高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期リハビリテーション機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他	備考		
名称	ふじみの救急病院	R5.7.1		19						19													
開設者	人間郡三芳町北永井997-5	2025年予定		20						20													
所在地	医療法人社団晃悠会	変更増減	0	1	0	0	0	0	0	1													
南西部医療圏 病院 合計		R5.7.1	232	2,586	560	1,112	31			4,521													
		2025年予定	229	2,616	631	1,129	0	0	0	0	4,605												
		変更増減	▲ 3	30	71	17	▲ 31	0	0	0	84												

第7次公募(R4):1床増床

- *1:肺炎や軽度の外傷など比較的軽症な疾患を持つ患者を受け入れる機能(地域包括ケア病棟・入院医療管理料病床を含む)
- *2:急性期後の在宅復帰に向けた患者を受け入れる機能(地域包括ケア病棟・入院医療管理料病床を含む)
- *3:リハビリテーション医療等を提供する機能
- *4:長期療養を支える機能
- *5:訪問診療・訪問看護

【南西部医療圏】病院

医療機関		②構想区域において担うべき医療機関としての役割												③入院医療に係る連携状況(入院患者入院元・退院先)															
		(2)貴医療機関が担う医療												(1)入棟前の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)							(2)退棟先の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)								
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	感染症その他	備考	院内の他病棟からの転棟	家庭からの入院	他の病院、診療所からの転院	介護施設・福祉施設からの入院	介護医療院からの入院	院内の出生	その他	院内の他病棟へ転棟	家庭へ退院	他の病院、診療所へ転院	介護老人保健施設へ入所	介護老人福祉施設へ入所	介護医療院へ入所	社会福祉施設・有料老人ホーム等へ入所	終了(死亡退院等)	その他
名称	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	R4.7.1	○	○	○	○		○		○				5,576	9,932	241	509	0	0	0	5,576	8,599	1,083	143	95	0	260	533	0
開設者	医療法人社団武蔵野会	2025年予定	○	○	○	○		○		○																			
所在地	朝霞市溝沼1340-1																												
名称	朝霞厚生病院	R4.7.1	○	○		○		○						28	130	54	121	0	0	0	27	111	27	16	65	0	22	67	0
開設者	一般財団法人関東厚生福祉会	2025年予定	○	○		○		○																					
所在地	朝霞市浜崎703	脳卒中・心血管疾患は急性期治療後を対象																											
名称	医療法人山柳会塩味病院	R4.7.1												69	156	111	68	0	0	0	77	184	24	56	6	0	27	50	0
開設者	医療法人山柳会	2025年予定																											
所在地	朝霞市溝沼2-4-1																												
名称	医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	R4.7.1												79	505	301	150	0	0	0	75	623	109	70	29	0	63	63	0
開設者	医療法人社団武蔵野会	2025年予定																											
所在地	志木市上宗岡5-14-50																												
名称	医療法人社団浅野病院	R4.7.1												1	0	66	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	50	0
開設者	医療法人社団浅野病院	2025年予定																											
所在地	志木市本町6-24-21																												
名称	坪田和光病院	R4.7.1												0	64	33	58	0	0	0	0	84	10	4	0	0	14	38	0
開設者	医療法人社団坪田会	2025年予定																											
所在地	和光市白子2-12-15																												
名称	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	R4.7.1												5,011	12,721	79	81	0	379	1	4,882	12,094	759	38	16	0	80	618	1
開設者	独立行政法人国立病院機構	2025年予定																											
所在地	和光市諏訪2-1																												
名称	医療法人寿鶴会普野病院	R4.7.1						○						105	84	157	7	0	0	0	103	95	32	9	8	0	30	97	0
開設者	医療法人寿鶴会	2025年予定						○																					
所在地	和光市本町28-3	精神疾患を伴うコロナ感染症対応病棟の運営																											
名称	医療法人泰一会和光リハビリテーション病院	R4.7.1												0	0	218	0	0	0	0	0	154	29	2	0	0	34	0	0
開設者	医療法人泰一会	2025年予定																											
所在地	和光市中央2-6-75																												
名称	堀ノ内病院	R4.7.1						○						798	1,688	183	325	0	0	0	732	1,468	230	125	351	0	0	250	0
開設者	社会医療法人社団堀ノ内病院	2025年予定						○																					
所在地	新座市堀ノ内2-9-31	在宅療養の支援が出来るよう、2023年5月「看護小規模多機能型居宅介護」事業所を開設予定。																											
名称	北野病院	R4.7.1												36	7	79	60	0	0	0	37	4	5	9	9	0	0	113	0
開設者	医療法人昭仁会	2025年予定																											
所在地	新座市北野2-14-8																												
名称	医療法人社団武蔵野会新座病院	R4.7.1												60	254	480	9	0	0	0	60	540	73	58	21	0	32	22	0
開設者	医療法人社団武蔵野会	2025年予定																											
所在地	新座市堀ノ内3-14-30																												
名称	静風荘病院	R4.7.1	○			○								0	64	98	14	0	0	0	1	64	7	6	10	0	3	75	0
開設者	一般財団法人野中東皓会	2025年予定	○	○	○	○																							
所在地	新座市堀ノ内1-9-28																												

【南西部医療圏】病院

医療機関		②構想区域において担うべき医療機関としての役割											③入院医療に係る連携状況(入院患者入院元・退院先)																
		(2)貴医療機関が担う医療											(1)入棟前の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)							(2)退棟先の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)									
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	感染症その他	備考	院内の他病棟からの転棟	家庭からの入院	他の病院、診療所からの転院	介護施設・福祉施設からの入院	介護医療院からの入院	院内の出生	その他	院内の他病棟へ転棟	家庭へ退院	他の病院、診療所へ転院	介護老人保健施設に入所	介護老人福祉施設に入所	介護医療院に入所	社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	終了(死亡退院等)	その他
名称	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	R4.7.1	○	○	○	○						○		1,378	6,028	178	333	0	0	0	1,425	5,298	482	142	60	2	230	367	0
開設者	医療法人社団武蔵野会	2025年予定	○	○	○	○						○																	
所在地	新座市東北1-7-2	新型コロナウイルス感染症入院受入に係る重点医療機関の指定を受けており、新型コロナウイルス感染症の患者様の受入れと通常医療の両立ができる体制を整備してきた。建物の構造・設備上、感染症を受け入れられる機能は限られているが、新型コロナウイルスでの対応の知見を活かし、今後の新興感染症等が発生した際に、病院の機能を維持しながら、感染症に対応できるような体制の整備が今後の課題。																											
名称	医療法人向英会高田整形外科病院	R4.7.1												0	249	9	7	0	0	0	0	264	6	6	1	0	7	0	0
開設者	医療法人向英会	2025年予定																											
所在地	新座市野火止6-5-20																												
名称	医療法人さくら さくら記念病院	R4.7.1												349	661	193	170	0	0	0	349	628	133	28	59	0	59	127	0
開設者	医療法人さくら	2025年予定																											
所在地	富士見市水谷東1-28-1																												
名称	医療法人恵愛会恵愛病院	R4.7.1												0	3,117	0	0	0	2,801	0	0	5,884	58	0	0	0	0	0	0
開設者	医療法人恵愛会	2025年予定																											
所在地	富士見市針ヶ谷526-1																												
名称	みずほ台病院	R4.7.1												3	718	10	89	0	0	0	0	620	34	14	53	0	33	57	9
開設者	医療法人橘会	2025年予定																											
所在地	富士見市西みずほ台2-9-5																												
名称	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	R5.7.1	○	○	○	○						○	○	2,923	3,617	1,318	117	0	0	2	2,923	3,844	446	121	116	1	110	332	2
開設者	医療法人財団明理会	2025年予定	○	○	○	○						○	○																
所在地	富士見市鶴馬1967-1	・感染症に基づく協定→第一種協定指定医療機関への手上げ ・小児総合医療の提供 小児神経(発達障害、慢性疾患)、精神(うつ、心身症)、児童虐待、循環器、腎臓、アレルギー、新生児、小児外科 ・今後増加が予想されるサブアキュートの救急患者にも対応するため、救急患者受け入れ能力を強化する。 ・周産期は産後ケアを含む																											
名称	医療法人社団サンセリテ三浦病院	R4.7.1	○										○	0	311	205	17	0	0	10	0	118	1	3	1	0	3	414	0
開設者	医療法人社団サンセリテ	2025年予定	○										○																
所在地	富士見市下南畑3166																												
名称	医療法人誠壽会上福岡総合病院	R4.7.1	○	○		○		○	○			○	○	388	2,898	74	67	1	3	0	382	2,635	108	58	19	0	32	181	0
開設者	医療法人誠壽会	2025年予定	○	○		○		○	○			○	○																
所在地	ふじみ野市福岡931	埼玉県感染症対策課の依頼で、コロナウイルス陽性者で入院が必要な患者を受け入れる態勢あり																											
名称	医療法人社団草芳会三芳野第2病院	R4.7.1												0	34	439	19	0	0	0	0	77	221	64	29	2	34	63	0
開設者	医療法人社団草芳会	2025年予定																											
所在地	ふじみ野市大原2-1-16																												
名称	富家病院	R4.7.1										○	○	116	196	352	48	0	0	11	94	292	82	28	67	2	26	106	2
開設者	医療法人社団富家会	2025年予定										○	○																
所在地	ふじみ野市亀久保2197	新型コロナウイルス、新型インフルエンザ陽性者の受け入れと予防接種実施																											
名称	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	R4.7.1										○	○	39	2	377	0	0	0	0	38	116	53	21	16	0	15	158	0
開設者	医療法人財団明理会	2025年予定										○	○																
所在地	入間郡三芳町上富2177-2																												
名称	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	R4.7.1												2,281	4,167	125	325	0	0	0	2,233	3,543	465	93	75	0	95	400	0
開設者	医療法人社団明芳会	2025年予定																											
所在地	入間郡三芳町藤久保974-3																												
名称	医療法人社団草芳会三芳野病院	R4.7.1												101	457	601	229	4	0	0	212	441	352	204	101	0	79	201	0
開設者	医療法人社団草芳会	2025年予定																											
所在地	入間郡三芳町北永井890-6	透析医療																											

【南西部医療圏】病院

医療機関		②構想区域において担うべき医療機関としての役割											③入院医療に係る連携状況(入院患者入院元・退院先)																			
		(2)貴医療機関が担う医療											(1)入棟前の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)							(2)退棟先の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)												
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	感染症その他	備考	院内の他病棟からの転棟	家庭からの入院	他の病院、診療所からの転院	介護施設・福祉施設からの入院	介護医療院からの入院	院内の出生	その他	院内の他病棟へ転棟	家庭へ退院	他の病院、診療所へ転院	介護老人保健施設に入所	介護老人福祉施設に入所	介護医療院に入所	社会福祉施設・有料老人ホーム等に入所	終了(死亡退院等)	その他			
名称	ふじみの救急病院	R4.7.1																														
開設者	入間郡三芳町北永井997-5	2025年予定											0	0	0	0	0	0	944	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		938	
所在地	医療法人社団晃悠会																															
南西部医療圏 病院 合計																																

【南西部医療圏】病院

【参考】各医療機関が有する課題として回答があったもの(複数回答可)	
回答医療機関数: 15	回答数
医師確保	9
看護師確保	12
その他医療職(リハビリ職、薬剤師等)確保	11
病床稼働率の低下	6
退院・転院先の確保	6
看護必要度に係る要件(入院基本料)の維持	4
建物の老朽化改修	7
建物の耐震化改修	1
建物の災害対策(自家発電・受水槽等)	5
その他	1
<p><その他> 人材確保は現時点では出来ているが、それに伴うコスト(紹介会社への紹介料)の負担が大変大きい。 今後建て替えを検討する必要があるが、用地確保が難しい。 中長期的な病床機能の見直し等に対応する人材確保が課題。建物の構造上、動線が悪く効率的な医療の提供が一部困難。 ・災害時の水と電気の確保(井水設備、自家発電用燃料タンクの整備を計画)</p>	

【南西部医療圏】有床診療所

医療機関	①医療機能ごとの病床数								備考 (補足説明、御意見等)	②構想区域において担うべき医療機関としての役割													③入院医療に係る連携状況(入院患者入院元・退院先)																									
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計		④構想区域において担うべき医療機関としての役割													⑤入院医療に係る連携状況(入院患者入院元・退院先)																									
										(1)真医療機関の役割、機能										(2)真医療機関が担う医療			(1)入退院の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)						(2)退院先の場所別の年間入院患者数(R4病床機能報告)																			
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養中等非稼働	介護保険施設等への移行	廃止	合計	高度先端医療を提供する機能	急性期機能	サブアキュート機能(*1)	ポストアキュート機能(*2)	回復期サブアキュート機能(*3)	慢性期機能(*4)	在宅医療を提供する機能(*5)	小児医療を提供する機能	緩和ケアを提供する機能	その他	備考	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	感染症その他	備考	家庭からの入院	他の病院・診療所からの転院	介護施設からの入院	介護施設からの入院	院内の出生	その他	家庭へ退院	他の病院・診療所へ転院	介護老人保健施設へ退院	介護老人福祉施設へ退院	介護医療院へ退院	社会福祉施設(老人ホーム等)へ退院	終了(死亡・退院等)	その他		
名称	せきや眼科	R5.7.1		12					12	R4.7.1											R4.7.1																											
開設者	医療法人久治会	2025年予定		12					12	2025年予定											2025年予定																											
所在地	ふじみ野市旭1-18-25	変更増減	0	0	0	0	0	0	0	眼科																																						
南西部医療圏 有床診療所 合計		R5.7.1	0	147	0	0	0		147	*1:肺炎や軽度の外傷など比較的軽症な疾患を持つ患者を受け入れる機能(地域包括ケア病棟・入院医療管理科病床を含む)																																						
		2025年予定	0	129	0	0	0	0	18	*2:急性期後の在宅復帰に向けた患者を受け入れる機能(地域包括ケア病棟・入院医療管理科病床を含む)																																						
		変更増減	0	▲18	0	0	0		▲18	*3:リハビリテーション医療等を提供する機能																																						
										*4:長期療養を支える機能 *5:訪問診療・訪問看護																																						
										◆診療科目は、埼玉県医療機能提供システムの記載内容を転記。																																						

【南西部医療圏】有床診療所

【参考】各医療機関が有する課題として回答があったもの(複数回答可)	
回答医療機関数: 7	回答数
医師確保	3
看護師確保	4
その他医療職(リハビリ職、薬剤師等)確保	2
病床稼働率の低下	1
退院・転院先の確保	0
看護必要度に係る要件(入院基本料)の維持	0
建物の老朽化改修	1
建物の耐震化改修	0
建物の災害対策(自家発電・受水槽等)	3
その他	1

<その他>

基本的には医師は、院長1人で対応しており、年齢的にいつまで分娩を取り扱えるか。

医第 439-1 号
令和 6 年 8 月 9 日

県内関係病院長 様

埼玉県保健医療部長 表 久仁和
(公 印 省 略)

令和 6 年度埼玉県病床機能転換促進事業の追加募集及び令和 7 年度事業の実施意向の調査について（依頼）

本県の保健医療行政の推進につきましては、日ごろ格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県では、地域医療介護総合確保基金を活用して、急性期病床から回復期病床（地域包括ケア病棟（病室）及び回復期リハビリテーション病棟）への転換を行う医療機関に対して、施設整備費及び設備整備費の一部を助成する事業を実施しています（事業概要及び本年度の事業見直しの内容等詳細は、別添「令和 6 年度埼玉県病床機能転換促進事業（追加募集）の概要」を御参照ください）。

つきましては、下記 1 により本年度事業の追加募集を行うとともに、下記 2 により令和 7 年度事業の実施意向の調査を行いますので、該当がある場合は、医療整備課総務・医療企画担当あて電子メールにより所定書類の提出をお願いいたします。

記

1 令和 6 年度事業の追加募集について

(1) 提出書類 事業計画書及び添付書類

様式は、県ホームページ（以下 URL）からダウンロードしてください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/tenkanr3.html>

(2) 提出期限 令和 6 年 11 月 29 日（金）

※ 随時受付し、予算額上限に達した際には提出期限（11 月末）を待たずに募集を締め切ります（その旨、県ホームページで周知します）ので、申請を予定している場合には、早めに下記担当まで御提出ください。

(3) 留意事項

補助金の内示時期等事業スケジュールについては参考資料を御確認ください。

2 令和 7 年度事業の実施意向の調査について

(1) 提出書類 別紙「令和 7 年度事業実施意向調査票」

(2) 提出期限 令和 6 年 8 月 30 日（金）

(3) 留意事項

ア 来年度予算編成の参考とするものです。実施の予定あり又は検討中の場合は、大まかな計画の段階での御回答で構いません。

イ 令和 7 年度事業の実施については、現在のところ未定であり、実施する場合でも対象者、対象経費、補助率等の内容が変更になる可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

担 当：医療整備課 総務・医療企画担当 三枝 TEL：048-830-3535 E-mail：a3530-07@pref.saitama.lg.jp

別 添

令和6年度埼玉県病床機能転換促進事業（追加募集）の概要 （受付期間：8月9日（金）～11月29日（金）＊）

＊ 随時受付し、予算額上限に達した際には提出期限（11月末）を待たずに募集を締め切ります（その旨、県ホームページで周知します）ので、申請を予定している場合には、早めに所定書類を御提出ください。

1 目的

埼玉県地域医療構想において不足が推計されている回復期病床を充実させるため、地域医療介護総合確保基金を活用し、回復期病床への転換に係る新築・増改築・改修等を実施する医療機関を支援し、在宅復帰の支援やリハビリを行う回復期病床の整備を促進する。

2 補助対象者

医療法に基づく埼玉県内の病院の開設者であって、知事が適当と認めるもの。

3 補助対象事業

「基本診療料の施設基準等（平成20年厚生労働省告示第62号）」に規定する「地域包括ケア病棟入院料」「地域包括ケア入院医療管理料」「回復期リハビリテーション病棟入院料」のいずれかの施設基準等を満たす施設（以下「地域包括ケア病棟等」という）を開設するための施設及び設備整備事業で、下記の要件を全て満たすもの。

- （1）急性期病床から病床機能転換するもの。（※増床による病床整備は、補助対象外です。）
- （2）自院完結型ではなく、他の急性期病院や地域の在宅支援診療所、高齢者施設等と連携した地域完結型医療の構築を目指す事業計画であること。
（※二次保健医療圏の地域医療構想調整会議に出席し、事業計画について報告していただきます。）
- （3）補助金内示後に補助事業に着手し、令和7年3月末日までに完了するもの（事業期間が複数年度にわたる事業は、各年度ごとに補助申請が可能）。
（※地域包括ケア病棟等への転換工事に着手済み又は転換済の病床は、補助対象外です。）

4 補助対象経費

（1）施設整備費

地域包括ケア病棟等を整備するために必要な新築・増改築及び改修に要する工事費又は工事請負費

ただし、次に掲げる費用を除く。

- （ア）土地の取得又は整地に要する費用
- （イ）門、柵、塀及び造園工事並びに通路敷設備に要する費用
- （ウ）設計その他工事に伴う事務に要する費用
- （エ）既存建物の買収に要する費用
- （オ）その他整備費として適当と認められない費用

（2）設備整備費

地域包括ケア病棟等を整備するために必要な医療機器等の備品購入費

5 補助金額

【 補助金額（千円未満切り捨て）＝ 基準額 × 補助率 】

区 分		基準額（上限額）		補助率
施設整備費	新築・増改築	転換病床 1床あたり	10,080 千円	1/2・2/3*
	改修	転換病床 1床あたり	4,270 千円	
設備整備費		1 施設あたり	10,800 千円	1/2・2/3*

* 回復期病床の整備を病棟単位（当該補助事業の内示後に新たに回復期に転換した病床のみで構成）で実施する場合に限る。

なお、病棟の単位は看護体制の1単位をもって病棟として取り扱う。

（留意事項）

- ① 補助対象の工事費又は工事請負費及び備品購入費が基準額を下回る場合は、当該工事費又は工事請負費及び備品購入費を基準額とします。
- ② 事業期間が複数年度にわたる事業は、各年度の出来高に応じた補助金額になります。

※本年度から下表のとおり事業の一部を見直しました。事業実施の参考にしてください。

区分	R 5		R 6	
	補助基準（上限）額	補助率	補助基準（上限）額	補助率
施設整備 （新築・増改築）	9,000 千円／病床	1/2	10,080 千円／病床	1/2・ <u>2/3</u>
施設整備 （改修）	3,000 千円／病床		4,270 千円／病床	
設備整備	10,800 千円／施設		10,800 千円／施設	1/2・ <u>2/3</u>

6 その他

- (1) 県ホームページ(以下URL)に申請様式、Q&A及びスケジュールを掲載しています。
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0703/tenkanr3.html>
- (2) 補助事業完了の翌年度に、消費税及び地方消費税の申告による補助金に係る仕入控除税額確定に際して、知事への報告書の提出と、仕入控除税額に相当する補助金の県への返納が生じます。
- (3) 補助事業完了後、診療報酬施設基準に定める地域包括ケア病棟入院料又は回復期リハビリテーション病棟入院料を算定するための届出を行う必要があります。
- (4) 原則、補助事業完了以後の病床機能報告を急性期機能から回復期機能に変更して報告していただく必要があります。
- (5) 補助事業完了後、事業効果に関する調査に御協力いただきます。

参考資料

令和6年度埼玉県病床機能転換促進事業(追加募集) スケジュール(予定)

日程	県医療整備課	事業者(病院等)	備考
<p>【募集締切(*1)】 令和6年11月29日(金)まで</p>		<p>応募 (「事業計画書」を提出)</p>	<p>*1 随時受付し、予算額上限に達した際には11月末を待たずに募集を締め切りますので御注意ください。</p>
<p>【地域医療構想調整会議(*2)】 第一回会議(令和6年8月~9月)又は 第二回会議(令和6年11月~12月)</p>			<p>*2 会議に出席し、事業計画を報告</p>
<p>※地域医療構想調整会議の開催時期は圏域によって異なりますので御注意ください。</p>			<p>*3 契約・工事等の着手は、補助金の内示後 ※前年度からの継続事業は除く</p>
<p>【内示(*3)】 会議で事業計画を報告していただいた後、概ね一か月以内</p>	<p>内示</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
	<p>○</p>	<p>補助金交付申請 (「交付申請書」を提出)</p>	<p>○</p>
	<p>補助金交付決定 (「交付決定通知書」)</p>	<p>○</p>	<p>工事等の完了 ※翌年度への継続事業は当該年度の出来高を算出</p>
<p>【実績報告書締切】 令和7年3月31日(月)まで</p>	<p>○</p>	<p>補助事業の完了 (「実績報告書」提出)</p>	<p>補助金の支払いは、補助金の交付額が確定した後、精算払のみ</p>
	<p>補助金額の確定 (「補助金確定通知書」)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
	<p>○</p>	<p>補助金の請求 (「精算払請求書」提出)</p>	
	<p>補助金支払</p>	<p>○</p>	

別紙

埼玉県医療整備課 総務・医療企画担当宛

令和7年度事業実施意向調査票

医療機関名			
担当者職名・氏名		電話番号	
メールアドレス			

I 病床機能転換の予定について

問1 急性期病床を回復期病床に転換し、地域包括ケア病棟入院料等(※1)の算定を開始(※2)する予定はありますか。

- (1) 令和7年度(2025年度)中の予定あり又は検討している (⇒問2へお進みください)
- (2) 予定なし (⇒質問は以上です。予定なしの場合、当調査票を提出いただく必要はありません。)
- (※1: 地域包括ケア病棟入院料等とは、「地域包括ケア病棟入院料」「地域包括ケア入院医療管理料」「回復期リハビリテーション病棟入院料」のいずれかを指します。)
- (※2: 既に地域包括ケア病棟入院料等を算定しており、更に病床機能転換により病床数を増やす場合も含まれます。)

問2 予定する病床機能転換の概要を御記入ください。

転換病床数(※3)	転換前入院料(※4)	転換後入院料(※5)	転換区分(※6)	契約予定年月(※7)	完成予定年月(※7)	算定開始予定年月
記載例						
10床	急性期一般入院料	地域包括ケア入院医療管理料	内部改修	R7.10	R7.12	R8.1

- (※3: 転換する病床数を記入してください。(注: 30床を40床にする場合は「10床」と記入してください。))
- (※4: 転換する病床で転換前に算定する入院基本料を記入してください。)
- (※5: 転換後に算定予定の入院料(「地域包括ケア病棟入院料」「地域包括ケア入院医療管理料」「回復期リハビリテーション病棟入院料」)を記入してください。)
- (※6: 転換区分は、「新築」「増改築」「内部改修」「工事なし」のいずれかを記入してください。)
- (※7: 「新築」「増改築」「内部改修」の場合、工事請負契約締結・完成予定年月を記入してください。)

(⇒問3へお進みください)

II 埼玉県病床機能転換促進事業補助金の活用意向について

問3 令和7年度(2025年度)において、この補助金を活用する意向はありますか。

(1)活用意向あり (⇒問4へお進みください)

(2)活用意向なし (⇒質問は以上です)

(※ 補助事業の概要は「別添 令和6年度埼玉県病床機能転換促進事業(追加募集)の概要」を御覧ください。)

問4 補助金を活用予定の病床機能転換の概要を御記入ください。

【施設整備費】

転換 病床数 (※8)	工事内容	予定工事費(千円)
記載例 10床	既存棟4階・6階改修 廊下幅拡張 倉庫→リハビリ室に改修 浴室・便所バリアフリー工事	70,000

【設備整備費】

転換 病床数 (※8)	品名及び数量	予定購入費(千円)
記載例 10床	ベッド5台・起立・歩行訓練機2台・練習用階段1台	7,000

(※8:問2で記入した病床数)

御協力いただき、ありがとうございました。

令和 4 年度病床機能報告の定量基準分析結果について

定量基準分析（埼玉方式）のあゆみ

平成29年度

- 7月 委託業者の公募・業者決定（みずほ情報総研）
- 8月～10月 データ分析方針の検討
- 11月・2月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析方針説明・中間報告・意見聴取

平成30年度

- 4月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析結果報告・意見聴取
- 5月 厚労省主催「地域医療構想に関するワーキンググループ」で事例発表
- 6月 厚労省主催「都道府県医療政策研修」で事例発表
- 8月 「地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について」通知 ※厚労省が各都道府県に埼玉方式の分析ツールを提供

令和元年度

- 2～3月 平成30年度診療報酬改定を踏まえた分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和2年度

- 2～3月 分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和4年度

- 1～3月 分析業務の委託（みずほリサーチ&テクノロジーズ）

令和5年度

- 1～3月 分析業務の委託（健康保険医療情報総合研究所）

※令和3年度は病床機能報告様式2の報告が実施されず、分析の元データが得られなかったため実施していない。

埼玉県病床機能報告定量基準分析の枠組み

- 「ICU→高度急性期」「回復期リハ病棟→回復期」「療養病棟→慢性期」など、**どの医療機能と見なすのかが明らかな入院料の病棟**は、当該医療機能として扱う。
- 特定の医療機能と結びついていない**一般病棟・有床診療所の一般病床・地域包括ケア病棟（周産期・小児以外）**を対象に、具体的な機能の内容に応じて客観的に設定した**区分線1・区分線2**によって、高度急性期/急性期/回復期を区分する。
- 特殊性の強い周産期・小児・緩和ケアは切り分けて考える。

4 機能	大区分					
	主に成人			周産期	小児	緩和ケア
高度急性期	救命救急 ICU SCU HCU	一般病棟 有床診療所の一般病床 地域包括ケア病棟		MFICU NICU GCU	PICU 小児入院医療管理料1	
急性期				産科の一般病棟 産科の有床診療所	小児入院医療管理料2,3 小児科の急性期一般入院料1 小児科の一般病棟7:1	緩和ケア病棟 (放射線治療あり)
回復期	回復期 リハビリ病棟				小児入院医療管理料4,5 小児科の急性期一般入院料1、 一般病棟7:1以外 小児科の有床診療所	
慢性期	療養病棟 特殊疾患病棟 障害者施設等					緩和ケア病棟 (放射線治療なし)

具体的な機能に応じて区分線を引く

機能区分基準の考え方

- ① 病床機能報告のうち、主に「具体的な医療の内容に関する項目」のデータの中から、外科的治療・内科的治療・全身管理等の幅広い診療内容を加味して基準を構成。
- ② 区分線 1 のしきい値は、救命救急入院料やICUの大半が、高度急性期に区分される程度とする。
- ③ 区分線 2 のしきい値は、急性期一般入院料 1 の大半が、高度急性期・急性期に区分される程度とする。
- ④ 区分線 1・2 を設定した結果、高度急性期・急性期・回復期の 1 日あたり入院患者数が、「埼玉県地域医療構想における現在（2013年）の需要推計」との間に大きな齟齬がないか確認する。

ただし、実際には各病棟にはさまざまな病期の患者が混在する中で、病棟単位での集計結果に応じて区分するため、ある病棟が、わずかな機能の差によって、「急性期の病棟」に区分されたり「回復期の病棟」に区分されたりし、それに応じて「急性期の病棟の病床数」も大きく変わる。
区分線には「絶対の閾値」があるわけではなく、ある程度の幅をもたせて考えることが必要。

高度急性期・急性期の区分（区分線1）の指標

○救命救急やICU等で特に多く提供されている医療

- A：【手術】全身麻酔下手術
- B：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- C：【がん】悪性腫瘍手術
- D：【脳卒中】超急性期脳卒中加算
- E：【脳卒中】脳血管内手術
- F：【心血管疾患】経皮的冠動脈形成術（※）
- G：【救急】救急搬送診療料
- H：【救急】救急医療に係る諸項目（☆）
- I：【救急】重症患者への対応に係る諸項目（☆）
- J：【全身管理】全身管理への対応に係る諸項目（☆）

※...診療報酬上の入院料ではなくデータから特定がしにくいCCUへの置き換えができなかったこと、
経皮的冠動脈形成術の算定が一般病棟7:1よりもICU等に集中していることによる。

☆...機能報告のデータ項目のうち、救命救急やICU等で算定が集中しているものに限定。

→ これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線1で高度急性期に分類される病棟の割合（令和4年度報告）

区分線1で高度急性期に分類する要件			しきい値		該当する病棟の割合				
			最大使用病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	救命・ICU・SCU・HCU	急性期一般病棟1,一般病棟7:1(※)	左記以外の病院一般病棟(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	A	全身麻酔下手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	37.1%	2.6%	0.9%	2.5%	0.0%
	B	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	20.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%
がん	C	悪性腫瘍手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	20.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
脳卒中	D	超急性期脳卒中加算	あり	あり	23.8%	0.8%	0.3%	0.0%	算定不可
	E	脳血管内手術	あり	あり	26.7%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
心血管疾患	F	経皮的冠動脈形成術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	21.0%	2.6%	0.9%	0.8%	0.0%
救急	G	救急搬送診療料	あり	あり	13.3%	2.0%	0.6%	0.0%	算定不可
	H	救急医療に係る諸項目（下記の合計）	0.2回/月・床以上	8回/月以上	61.0%	1.5%	0.3%	1.7%	0.0%
		・救命のための気管内挿管 ・体表面・食道ペースティング法 ・非開胸的心マッサージ							
I	重症患者への対応に係る諸項目（下記の合計）	0.2回/月・床以上	8回/月以上	44.8%	3.3%	0.9%	0.0%	0.0%	
全身管理	J	全身管理への対応に係る諸項目（下記の合計）	8.0回/月・床以上	320回/月以上	50.5%	2.8%	1.2%	0.0%	0.0%
		・観血的動脈圧測定(1時間超) ・ドレーン法							
上記A～Jのうち1つ以上を満たす					77.1%	19.4%	4.3%	5.0%	0.0%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

急性期・回復期の区分（区分線2）の指標

○急性期一般入院料1（従前の一般病棟7:1）にて多く提供されている医療

- K：【手術】手術
- L：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- M：【がん】放射線治療
- N：【がん】化学療法
- O：【救急】救急搬送による予定外の入院

○一般病棟や地域包括ケア病棟で共通して用いられている指標

- P：【重症度、医療・看護必要度】

基準（「A得点2点以上かつB得点3点以上」「B14又はB15に該当する患者であって、A得点が1点以上かつB得点が3点以上」「A得点3点以上」「C得点1点以上」）を満たす患者割合

→これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線2で急性期に分類される病棟の割合（令和4年度報告）

区分線2で急性期に分類する要件			しきい値		該当する病棟の割合				
			最大使用病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	急性期一般病棟1, 一般病棟7:1 (※)	急性期一般病棟2-7, 一般病棟10:1 (※)	その他一般病棟 (※)	有床診の一般病床 (※)	地域包括ケア病棟
手術	K	手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	11.2%	4.1%	1.9%	20.2%	0.0%
	L	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.1回/月・床以上	4回/月以上	21.4%	9.0%	0.0%	3.4%	1.4%
がん	M	放射線治療 (レセプト枚数)	0.1枚/月・床以上	4枚/月以上	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	N	化学療法 (日数)	1.0日/月・床以上	40日/月以上	15.6%	2.5%	1.0%	0.8%	0.0%
救急	O	予定外の救急医療入院の人数	10人/年・床以上	33.3人/月以上	19.1%	13.9%	0.5%	0.0%	2.9%
重症度等	P	一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	I:31%以上 II:29%以上		77.8%	40.2%	1.0%	0.0%	4.3%
上記K～Pのうち1つ以上を満たす					86.0%	50.0%	4.3%	23.5%	8.7%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

4機能区別の病床稼働率について、「(国の基準による)地域医療構想における想定%」&「今回の区分結果の%」との比較表示をしている。

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考	
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	104病棟	715人/日	1,112床	59.9%	3.8日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分	
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	94病棟	3,102人/日	3,784床	80.9%	10.3日		
		急性期	349病棟	11,455人/日	14,831床	74.6%	11.7日		
		回復期	200病棟	5,513人/日	8,366床	69.7%	19.2日		
	回復期リハビリ病棟	回復期	85病棟	3,329人/日	3,985床	86.6%	65.8日		
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	64病棟	2,479人/日	2,963床	81.2%	108.0日		
	医療療養病床	慢性期	170病棟	7,181人/日	7,905床	88.4%	207.1日		
介護療養病床	慢性期	4病棟	115人/日	171床	35.2%	173.7日			
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	29病棟	292人/日	457床	68.7%	14.9日		
	産科の一般病床	急性期	79病棟	1,372人/日	2,033床	73.9%	6.0日		
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	15病棟	252人/日	398床	63.2%	6.1日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分	
		急性期	15病棟	201人/日	465床	46.3%	5.7日		
		回復期	1病棟	0人/日	2床	-	-		
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	3病棟	41人/日	68床	61.0%	18.2日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする	
		慢性期	16病棟	245人/日	373床	64.8%	24.1日		
その他	不明	不明/休棟	107病棟	2,181人/日	2,728床	43.3%	16.7日		
	休棟・休床中	不明/休棟	39病棟	8人/日	861床	0.0%	-		

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	4,361人/日	75.0%	74.6%
急性期	13,070人/日	78.0%	73.7%
回復期	8,843人/日	90.0%	75.3%
慢性期	10,020人/日	92.0%	84.7%
不明	2,190人/日	—	31.7%
合計	38,484人/日	—	73.4%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	86.6%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	69.8%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	64.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	80.9%
うち産科・小児科を除く有床診療所	48.4%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	242病棟	4,361人/日	5,751床	6,373床	5,528床	74.6%	8.0日
急性期 計	446病棟	13,070人/日	17,397床	24,887床	17,954床	73.7%	10.4日
回復期 計	286病棟	8,843人/日	12,353床	6,216床	16,717床	75.3%	26.2日
慢性期 計	254病棟	10,020人/日	11,412床	12,165床	14,011床	84.7%	144.2日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	146病棟	2,190人/日	3,589床	861床☆	-	31.7%	16.7日
全体	1,374病棟	38,484人/日	50,502床	50,502床	54,210床	73.4%	15.9日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	158床
急性期	1,386床
回復期	399床
慢性期	785床
休棟中・無回答	861床
	3,589床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

4機能区別の病床数について、「今回の区分結果」「病床機能報告」「地域医療構想の必要病床数」の3つを比較表示。

回復期については、入院料や診療科の種類によって、より細分化する形で、病床稼働率を表示。

(参考) 令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

大区分	入院科・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	101病棟	710人/日	1,236床	55.2%	4.4日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	72病棟	2,062人/日	2,646床	78.4%	9.6日	
		急性期	320病棟	10,431人/日	13,581床	76.3%	12.0日	
		回復期	223病棟	5,889人/日	8,678床	69.0%	19.9日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	83病棟	3,451人/日	3,953床	87.5%	67.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	64病棟	2,553人/日	3,005床	83.8%	104.2日	
	医療療養病床	慢性期	170病棟	7,211人/日	7,788床	89.6%	229.8日	
介護療養病床	慢性期	6病棟	243人/日	292床	83.4%	224.6日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	29病棟	290人/日	457床	67.9%	15.4日	
	産科の一般病床	急性期	78病棟	1,245人/日	1,948床	71.3%	6.0日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	14病棟	259人/日	398床	65.2%	6.5日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病棟	229人/日	492床	46.4%	6.3日	
		回復期	2病棟	19人/日	34床	59.9%	5.8日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	3病棟	53人/日	71床	74.5%	19.0日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	16病棟	229人/日	369床	58.3%	22.7日	
その他	不明	不明/休棟	119病棟	2,579人/日	3,987床	64.3%	15.7日	
	休棟・休床中	不明/休棟	47病棟	156人/日	980床	5.5%	10.2日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,322人/日	75.0%	70.4%
急性期	11,958人/日	78.0%	74.7%
回復期	9,359人/日	90.0%	75.1%
慢性期	10,237人/日	92.0%	86.8%
不明	2,735人/日	—	52.9%
合計	37,610人/日	—	74.6%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	87.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	77.1%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	65.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	77.5%
うち産科・小児科を除く有床診療所	49.8%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	59.9%

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	216病棟	3,322人/日	4,737床	6,219床	5,528床	70.4%	7.7日
急性期 計	417病棟	11,958人/日	16,092床	24,406床	17,954床	74.7%	10.7日
回復期 計	308病棟	9,359人/日	12,665床	6,092床	16,717床	75.1%	27.2日
慢性期 計	256病棟	10,237人/日	11,454床	12,218床	14,011床	86.8%	150.4日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	166病棟	2,735人/日	4,967床	980床☆	—	52.9%	15.6日
全体	1,363病棟	37,610人/日	49,915床	49,915床	54,210床	74.6%	16.7日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	304床
急性期	2,797床
回復期	248床
慢性期	638床
休棟中・無回答	980床
	4,967床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【南部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率	平均在棟日数	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	10病棟	61人/日	126床	48.8%	3.2日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	8病棟	251人/日	331床	72.9%	10.6日	
		急性期	30病棟	1,104人/日	1,421床	76.2%	11.0日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	24病棟	594人/日	956床	67.4%	18.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	2病棟	62人/日	75床	82.7%	62.7日	
	医療療養病床	慢性期	13病棟	447人/日	546床	81.8%	151.7日	
	介護療養病床	慢性期	1病棟	16人/日	60床	27.1%	112.2日	
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	4病棟	27人/日	42床	64.9%	16.6日	
	産科の一般病床	急性期	8病棟	182人/日	241床	75.3%	6.3日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	1病棟	16人/日	28床	56.8%	4.8日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病棟	24人/日	50床	48.1%	5.4日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	1病棟	13人/日	18床	71.7%	26.5日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	15人/日	24床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	4病棟	69人/日	97床	73.7%	6.0日	
	休棟・休床中	不明/休棟	3病棟	0人/日	29床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	356人/日	75.0%	65.2%
急性期	1,323人/日	78.0%	75.2%
回復期	940人/日	90.0%	74.5%
慢性期	540人/日	92.0%	74.2%
不明	69人/日	—	45.2%
合計	3,228人/日	—	73.0%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		94.0%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		61.5%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		62.4%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		90.6%
うち産科・小児科を除く有床診療所		83.7%
うち小児科の一般病棟・有床診		-

4機能ごとに集計

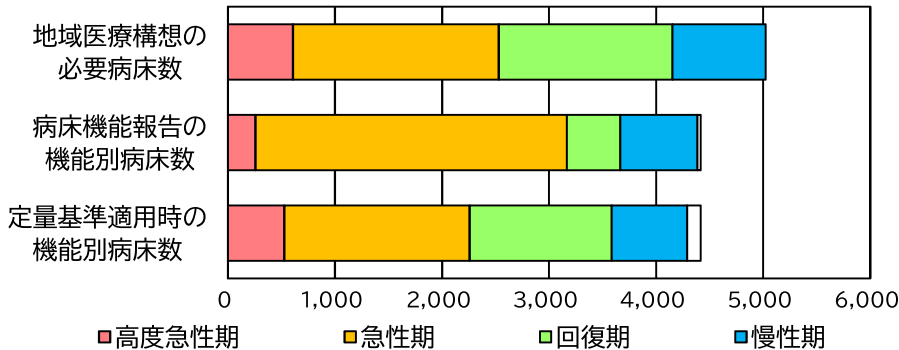
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	23病棟	356人/日	527床	257床	609床	65.2%	7.2日
急性期 計	41病棟	1,323人/日	1,730床	2,910床	1,922床	75.2%	9.8日
回復期 計	32病棟	940人/日	1,329床	500床	1,623床	74.5%	24.4日
慢性期 計	17病棟	540人/日	705床	721床	871床	74.2%	116.7日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	7病棟	69人/日	126床	29床☆	-	45.2%	6.0日
全体	120病棟	3,228人/日	4,417床	4,417床	5,025床	73.0%	12.8日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	46床
回復期	0床
慢性期	51床
休棟中・無回答	29床
合計	126床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、高度急性期を除き地域医療構想の必要病床数を1~2割程度下回っている。一層の病床確保が課題と考えられる。
- ・ 2050年には65歳以上の人口が約22万人と大幅に増加することが推計されている点からも回復期、慢性期の病床の確保は重要であると考えられる。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果 【南西部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考	
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	16病棟	68人/日	115床	60.3%	3.0日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分	
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	6病棟	200人/日	237床	84.5%	10.2日		
		急性期	32病棟	1,055人/日	1,367床	77.2%	11.6日		
		回復期	23病棟	783人/日	993床	77.2%	17.4日		
	回復期リハビリ病棟	回復期	9病棟	314人/日	346床	85.4%	70.5日		
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	10病棟	382人/日	433床	86.3%	175.7日		
	医療療養病床	慢性期	15病棟	607人/日	650床	95.0%	253.7日		
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-			
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	3病棟	16人/日	30床	-	-		
	産科の一般病床	急性期	8病棟	162人/日	170床	98.1%	5.7日		
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分	
		急性期	2病棟	35人/日	85床	41.3%	4.3日		
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする	
		慢性期	3病棟	85人/日	99床	86.4%	31.4日		
その他	不明	不明/休棟	8病棟	77人/日	166床	47.9%	8.2日		
	休棟・休床中	不明/休棟	0病棟	0人/日	0床	-	-		

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	284人/日	75.0%	77.8%
急性期	1,251人/日	78.0%	77.5%
回復期	1,097人/日	90.0%	79.2%
慢性期	1,074人/日	92.0%	90.8%
不明	77人/日	—	47.9%
合計	3,783人/日	—	79.9%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	85.4%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	81.2%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	75.2%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	80.4%
うち産科・小児科を除く有床診療所	42.1%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

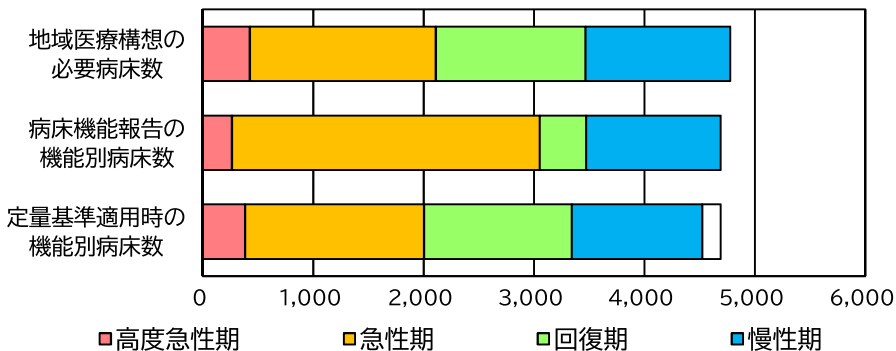
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	25病棟	284人/日	382床	264床	425床	77.8%	6.7日
急性期 計	42病棟	1,251人/日	1,622床	2,788床	1,685床	77.5%	9.6日
回復期 計	32病棟	1,097人/日	1,339床	420床	1,356床	79.2%	21.7日
慢性期 計	28病棟	1,074人/日	1,182床	1,219床	1,311床	90.8%	146.1日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	8病棟	77人/日	166床	0床☆	-	47.9%	8.2日
全体	135病棟	3,783人/日	4,691床	4,691床	4,777床	79.9%	15.3日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	136床
回復期	0床
慢性期	30床
休棟中・無回答	0床
合計	166床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、回復期・慢性期はおおむね地域医療構想における想定水準である。高度急性期・急性期は高度急性期が過剰であるが、両病床を合わせると想定水準となる。
- 2050年には65歳以上の人口が約22.2万人と大幅な増加が推計されている点から回復期・慢性期の病床の確保は重要であると考えられる。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【東部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	10病棟	61人/日	115床	38.8%	5.0日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	14病棟	392人/日	559床	71.6%	9.9日	
		急性期	60病棟	1,929人/日	2,616床	72.0%	11.5日	
		回復期	25病棟	671人/日	1,051床	67.0%	18.6日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	16病棟	576人/日	808床	90.4%	66.4日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	16病棟	624人/日	729床	81.5%	101.5日	
	医療療養病床	慢性期	19病棟	761人/日	881床	87.2%	280.9日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	6病棟	25人/日	58床	61.6%	9.0日	
	産科の一般病床	急性期	12病棟	180人/日	262床	79.5%	4.9日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	3病棟	53人/日	117床	45.1%	6.6日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	5病棟	51人/日	109床	46.9%	21.3日	
その他	不明	不明/休棟	16病棟	83人/日	247床	44.4%	14.0日	
	休棟・休床中	不明/休棟	5病棟	0人/日	135床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	478人/日	75.0%	68.2%
急性期	2,162人/日	78.0%	71.5%
回復期	1,247人/日	90.0%	75.3%
慢性期	1,436人/日	92.0%	81.6%
不明	83人/日	—	24.7%
合計	5,405人/日	—	71.8%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	90.4%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	75.1%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	55.8%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	77.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所	62.5%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

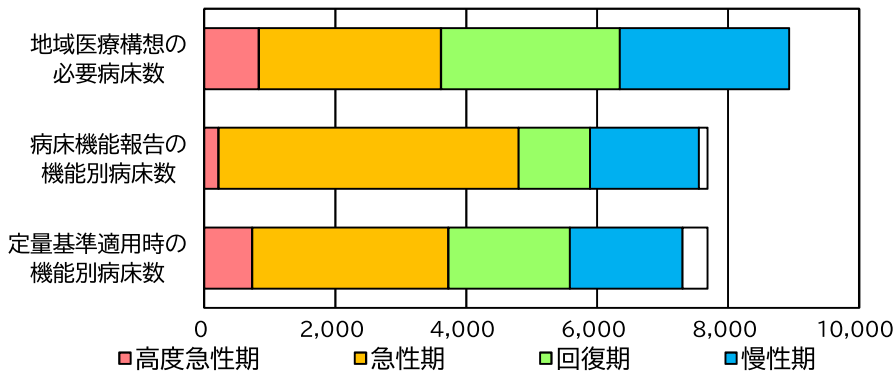
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	30病棟	478人/日	732床	218床	831床	68.2%	9.4日
急性期 計	75病棟	2,162人/日	2,995床	4,584床	2,783床	71.5%	10.1日
回復期 計	41病棟	1,247人/日	1,859床	1,089床	2,734床	75.3%	26.8日
慢性期 計	40病棟	1,436人/日	1,719床	1,661床	2,587床	81.6%	123.8日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	21病棟	83人/日	382床	135床☆	-	24.7%	14.0日
全体	207病棟	5,405人/日	7,687床	7,687床	8,935床	71.8%	15.8日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	123床
回復期	116床
慢性期	8床
休棟中・無回答	135床
	382床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して回復期・慢性期の病床が800床以上不足している。
- ・ 2050年には65歳以上の人口が約34万人と増加する点、病床稼働率が想定病床稼働率を下回る点から、回復期・慢性期病床の確保、在宅医療の推進等により患者需要に対応しうる稼働率向上に向けた対応が必要と考えられる。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【さいたま圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考	
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	22病棟	135人/日	202床	63.9%	3.4日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分	
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	14病棟	491人/日	575床	89.0%	9.7日		
		急性期	65病棟	2,054人/日	2,623床	80.0%	11.6日		
		回復期	16病棟	462人/日	626床	75.9%	19.0日		
	回復期リハビリ病棟	回復期	10病棟	433人/日	487床	88.9%	61.6日		
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	7病棟	245人/日	300床	84.1%	513.8日		
	医療療養病床	慢性期	18病棟	778人/日	862床	90.4%	179.9日		
介護療養病床	慢性期	1病棟	36人/日	40床	89.3%	221.0日			
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	8病棟	117人/日	144床	86.8%	15.4日		
	産科の一般病床	急性期	12病棟	171人/日	255床	73.2%	6.8日		
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	11病棟	180人/日	276床	65.3%	6.2日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分	
		急性期	4病棟	48人/日	100床	48.0%	5.4日		
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする	
		慢性期	1病棟	8人/日	22床	36.3%	10.3日		
その他	不明	不明/休棟	13病棟	176人/日	348床	42.2%	26.2日		
	休棟・休床中	不明/休棟	4病棟	0人/日	89床	0.0%	-		

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	923人/日	75.0%	78.3%
急性期	2,272人/日	78.0%	78.3%
回復期	895人/日	90.0%	81.7%
慢性期	1,067人/日	92.0%	88.2%
不明	176人/日	—	33.2%
合計	5,334人/日	—	77.6%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	88.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	64.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	73.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	80.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

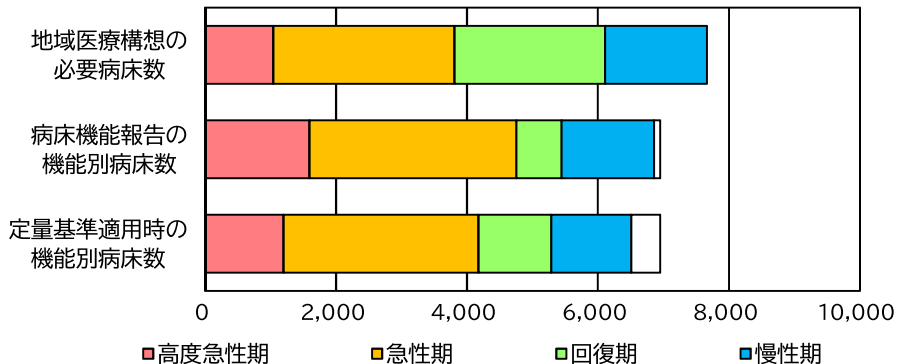
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	55病棟	923人/日	1,197床	1,593床	1,039床	78.3%	7.3日
急性期 計	81病棟	2,272人/日	2,978床	3,165床	2,770床	78.3%	10.8日
回復期 計	26病棟	895人/日	1,113床	689床	2,301床	81.7%	28.5日
慢性期 計	27病棟	1,067人/日	1,224床	1,413床	1,554床	88.2%	172.1日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	17病棟	176人/日	437床	89床☆	-	33.2%	26.2日
全体	206病棟	5,334人/日	6,949床	6,949床	7,664床	77.6%	13.9日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	41床
急性期	103床
回復期	38床
慢性期	166床
休棟中・無回答	89床
	437床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、急性期・回復期・慢性期の病床が不足している。
- ・ 地域医療構想の必要病床数に対して病床が不足している点や2050年には65歳以上の人口が約40万人と2020年比120%以上の大幅な伸びとなる点からも、急性期・回復期・慢性期病床の確保、在宅医療の推進等により患者需要に対応しうる稼働率向上に向けた対応が必要と考えられる。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【県央圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病棟	63人/日	80床	63.8%	3.2日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	8病棟	273人/日	321床	84.7%	8.0日	
		急性期	23病棟	738人/日	1,009床	73.6%	12.1日	
		回復期	11病棟	264人/日	524床	70.8%	20.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	6病棟	234人/日	275床	86.6%	71.2日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	2病棟	80人/日	91床	88.0%	78.2日	
	医療療養病床	慢性期	14病棟	472人/日	588床	82.0%	245.4日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	5病棟	79人/日	103床	76.3%	4.9日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病棟	12人/日	15床	79.3%	4.2日	
		回復期	1病棟	0人/日	2床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	1病棟	20人/日	36床	56.3%	15.6日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病棟	30人/日	35床	85.1%	26.1日	
その他	不明	不明/休棟	10病棟	97人/日	213床	43.1%	53.6日	
	休棟・休床中	不明/休棟	3病棟	0人/日	90床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	336人/日	75.0%	78.9%
急性期	849人/日	78.0%	73.4%
回復期	498人/日	90.0%	76.6%
慢性期	581人/日	92.0%	83.1%
不明	97人/日	—	29.4%
合計	2,361人/日	—	72.2%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	86.6%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	77.0%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	64.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	-
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

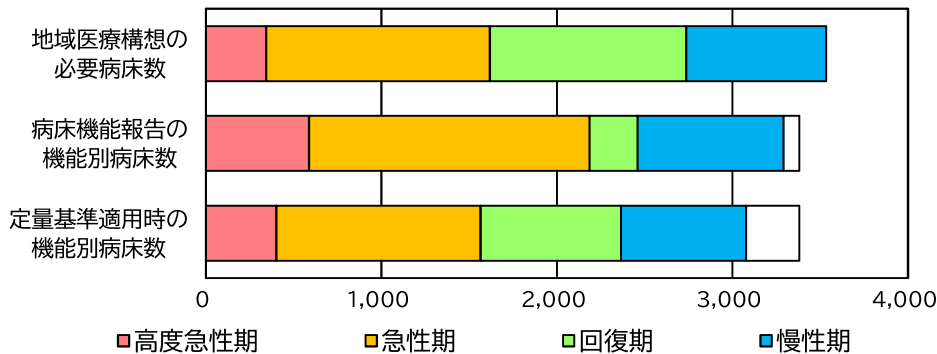
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	15病棟	336人/日	401床	587床	344床	78.9%	6.0日
急性期 計	30病棟	849人/日	1,163床	1,599床	1,273床	73.4%	10.4日
回復期 計	18病棟	498人/日	801床	275床	1,120床	76.6%	28.9日
慢性期 計	18病棟	581人/日	714床	831床	797床	83.1%	131.5日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	13病棟	97人/日	303床	90床☆	-	29.4%	53.6日
全体	94病棟	2,361人/日	3,382床	3,382床	3,534床	72.2%	15.1日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	76床
回復期	0床
慢性期	137床
休棟中・無回答	90床
	303床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、回復期を除き概ね水準に近い値となっている。2050年の65歳以上の人口は約16.2万人と増加することが見込まれる。引き続き、地域の実情に見合った医療体制を構築していくことが望まれる。
- ・ 平均在棟日数は、急性期を除き令和3年度と比較して短縮傾向、病床稼働率は令和3年度と比較して回復期以外は維持傾向となっている。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【川越比企圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	8病床	71人/日	109床	55.7%	4.8日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	14病床	441人/日	596床	76.2%	10.6日	
		急性期	43病床	1,536人/日	1,670床	75.1%	11.9日	
		回復期	28病床	858人/日	1,214床	74.1%	19.7日	
	回復期リハビリ病床	回復期	11病床	479人/日	558床	85.8%	74.5日	
	特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	7病床	317人/日	360床	87.5%	51.7日	
	医療療養病床	慢性期	30病床	1,306人/日	1,457床	92.3%	249.5日	
介護療養病床	慢性期	2病床	63人/日	71床	11.5%	206.2日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	7病床	105人/日	180床	58.1%	15.3日	
	産科の一般病床	急性期	12病床	213人/日	329床	69.0%	6.7日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	3病床	55人/日	94床	58.9%	6.1日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする
		慢性期	2病床	35人/日	50床	70.4%	27.9日	
その他	不明	不明/休棟	14病床	190人/日	275床	65.7%	19.1日	
	休棟・休床中	不明/休棟	8病床	8人/日	120床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	672人/日	75.0%	69.6%
急性期	1,749人/日	78.0%	74.0%
回復期	1,337人/日	90.0%	78.4%
慢性期	1,722人/日	92.0%	86.5%
不明	198人/日	—	44.2%
合計	5,677人/日	—	75.6%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病床	85.8%
うち産科・小児科を除く急性期一般病床1、一般病床7:1	67.6%
うち産科・小児科を除くその他の一般病床	69.9%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病床等	83.9%
うち産科・小児科を除く有床診療所	6.5%
うち小児科の一般病床・有床診	-

4機能ごとに集計

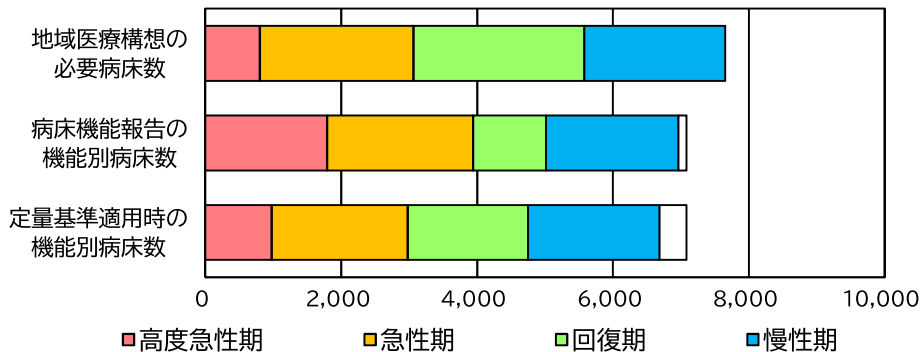
4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	32病床	672人/日	979床	1,790床	802床	69.6%	9.9日
急性期 計	55病床	1,749人/日	1,999床	2,151床	2,260床	74.0%	10.6日
回復期 計	39病床	1,337人/日	1,772床	1,073床	2,518床	78.4%	27.8日
慢性期 計	41病床	1,722人/日	1,938床	1,949床	2,072床	86.5%	153.5日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	22病床	198人/日	395床	120床☆	—	44.2%	19.1日
全体	189病床	5,677人/日	7,083床	7,083床	7,652床	75.6%	17.9日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病床等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	42床
急性期	83床
回復期	109床
慢性期	41床
休棟中・無回答	120床
	395床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病床を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、回復期を除き概ね水準に近い値となっている。2050年の65歳以上の人口は約24万人と増加することが見込まれる。引き続き、地域の実情に見合った医療体制を構築していくことが必要ではないか。
- 高度急性期においては令和3年度と比較して、平均在棟日数は短縮、病床稼働率は改善している。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【西部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考	
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	14病棟	121人/日	151床	77.6%	4.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分	
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	15病棟	511人/日	583床	81.5%	12.6日		
		急性期	44病棟	1,344人/日	1,813床	69.8%	11.6日		
		回復期	27病棟	730人/日	1,137床	63.9%	21.6日		
	回復期リハビリ病棟	回復期	13病棟	470人/日	573床	80.7%	69.4日		医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	7病棟	283人/日	395床	71.7%	338.8日		
	医療療養病床	慢性期	25病棟	1,485人/日	1,282床	93.6%	205.2日		
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-			
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	1病棟	3人/日	3床	93.8%	8.3日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする	
	産科の一般病床	急性期	11病棟	202人/日	305床	67.1%	6.3日		
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分	
		急性期	1病棟	17人/日	26床	66.1%	14.9日		
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする	
		慢性期	1病棟	16人/日	20床	77.8%	20.4日		
その他	不明	不明/休棟	19病棟	1,308人/日	749床	56.3%	33.2日		
	休棟・休床中	不明/休棟	7病棟	0人/日	149床	0.0%	-		

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	636人/日	75.0%	80.6%
急性期	1,563人/日	78.0%	69.4%
回復期	1,200人/日	90.0%	70.2%
慢性期	1,784人/日	92.0%	87.0%
不明	1,308人/日	—	46.2%
合計	6,491人/日	—	72.5%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		80.7%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7・1		64.8%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		58.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		78.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所		3.5%
うち小児科の一般病棟・有床診		-

4機能ごとに集計

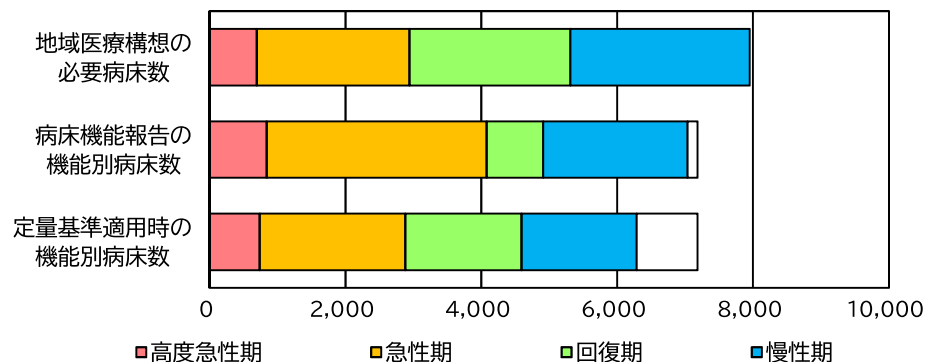
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	30病棟	636人/日	737床	844床	694床	80.6%	9.0日
急性期 計	56病棟	1,563人/日	2,144床	3,235床	2,249床	69.4%	10.3日
回復期 計	40病棟	1,200人/日	1,710床	836床	2,370床	70.2%	30.8日
慢性期 計	33病棟	1,784人/日	1,697床	2,122床	2,638床	87.0%	200.2日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	26病棟	1,308人/日	898床	149床☆		46.2%	33.2日
全体	185病棟	6,491人/日	7,186床	7,186床	7,951床	72.5%	18.8日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	56床
急性期	248床
回復期	59床
慢性期	386床
休床中・無回答	149床
	898床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、高度急性期を除き必要病床数に満たしていない。2050年の65歳以上の人口は約23.5万人と現時点から増加した後、2020年と同水準となることを見込まれる点から、東京都内の医療圏との連携や南西部、川越比企医療圏との連携を図り、人口の波に対応した医療体制を構築していくことが必要ではないか。
- ・ 病床稼働率は令和3年度と比較して大きく変わらないが、地域医療構想の想定病床稼働率は回復期の乖離が大きい。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【利根圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	11病棟	84人/日	123床	57.7%	4.2日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	11病棟	423人/日	446床	89.1%	11.2日	
		急性期	21病棟	715人/日	1,010床	64.5%	11.4日	
		回復期	21病棟	545人/日	864床	59.3%	19.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	8病棟	293人/日	370床	79.3%	56.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	8病棟	322人/日	394床	79.1%	64.4日	
	医療療養病床	慢性期	12病棟	441人/日	596床	76.7%	172.2日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	4病棟	50人/日	108床	48.9%	4.3日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病棟	0人/日	30床	-	-	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	5人/日	14床	37.0%	16.0日	
その他	不明	不明/休棟	16病棟	114人/日	525床	22.2%	11.5日	
	休棟・休床中	不明/休棟	4病棟	0人/日	117床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	507人/日	75.0%	81.6%
急性期	765人/日	78.0%	62.8%
回復期	839人/日	90.0%	66.0%
慢性期	769人/日	92.0%	76.8%
不明	114人/日	—	18.1%
合計	2,993人/日	—	61.1%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	79.3%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	34.4%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	61.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	67.9%
うち産科・小児科を除く有床診療所	24.5%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

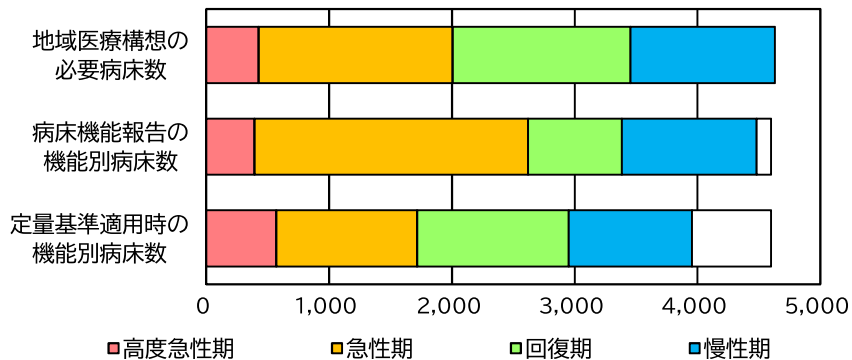
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	22病棟	507人/日	569床	391床	426床	81.6%	8.8日
急性期 計	26病棟	765人/日	1,148床	2,229床	1,580床	62.8%	10.1日
回復期 計	29病棟	839人/日	1,234床	765床	1,448床	66.0%	26.4日
慢性期 計	21病棟	769人/日	1,004床	1,095床	1,176床	76.8%	97.1日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	20病棟	114人/日	642床	117床☆	-	18.1%	11.5日
全体	118病棟	2,993人/日	4,597床	4,597床	4,630床	61.1%	16.2日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	452床
回復期	73床
慢性期	0床
休棟中・無回答	117床
	642床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

・ 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、急性期を除き概ね水準に近い値となっている。2050年の65歳以上の人口は約18.2万人と現時点から減少が見込まれる点から、一時的に病床数が不足する際は在宅推進や医療圏間の連携強化により対応するなど、長期的な地域の状況に合った医療体制を構築していくことが必要ではないか。

・ 高度急性期を除き、病床稼働率が地域医療構想の想定を下回っている。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【北部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考	
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	6病棟	51人/日	91床	56.1%	4.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分	
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	4病棟	119人/日	136床	89.5%	9.1日		
		急性期	27病棟	881人/日	1,135床	78.8%	13.3日		
		回復期	21病棟	530人/日	867床	70.4%	19.7日		
	回復期リハビリ病棟	回復期	3病棟	147人/日	155床	94.5%	52.8日		
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	4病棟	110人/日	126床	-	-		
	医療療養病床	慢性期	19病棟	755人/日	913床	87.7%	184.9日		
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-			
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
	産科の一般病床	急性期	7病棟	135人/日	260床	77.2%	7.1日		
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分	
		急性期	1病棟	12人/日	42床	29.6%	7.2日		
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	1病棟	8人/日	14床	59.2%	16.9日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする	
		慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
その他	不明	不明/休棟	3病棟	19人/日	42床	45.2%	20.1日		
	休棟・休床中	不明/休棟	5病棟	0人/日	132床	0.0%	-		

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	170人/日	75.0%	75.9%
急性期	1,037人/日	78.0%	76.8%
回復期	677人/日	90.0%	74.9%
慢性期	865人/日	92.0%	87.7%
不明	19人/日	—	10.9%
合計	2,767人/日	—	75.2%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	94.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	26.5%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	61.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	83.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所	57.9%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

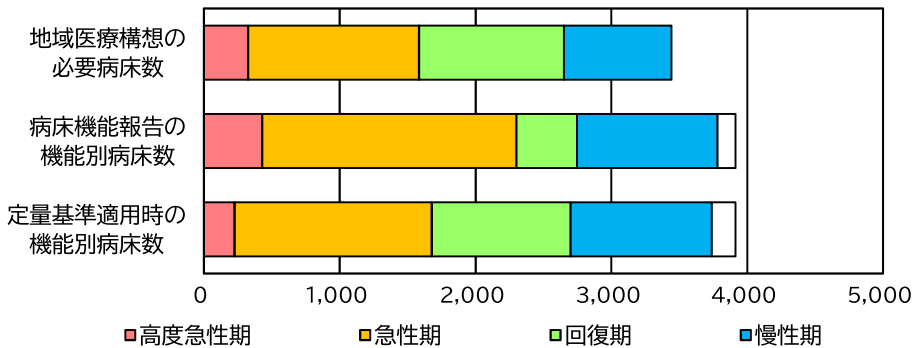
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	10病棟	170人/日	227床	429床	327床	75.9%	7.1日
急性期 計	36病棟	1,037人/日	1,451床	1,873床	1,258床	76.8%	12.2日
回復期 計	24病棟	677人/日	1,022床	445床	1,066床	74.9%	23.1日
慢性期 計	23病棟	865人/日	1,039床	1,034床	791床	87.7%	184.9日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	8病棟	19人/日	174床	132床☆	-	10.9%	20.1日
全体	101病棟	2,767人/日	3,913床	3,913床	3,442床	75.2%	17.8日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	19床
急性期	19床
回復期	4床
慢性期	0床
休棟中・無回答	132床
	174床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・ 定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、慢性期病床は過剰気味であるが、高度急性期を除き概ね水準に近い値となっている。2050年の65歳以上の人口は約14.5万人と現時点から増加した後、減少が見込まれる点から、高度急性期の医療体制は医療圏内で病床を確保するのではなく、交通の便を活かし近隣の利根、県央医療圏と連携して構築していくことが必要ではないか。
- ・ 慢性期を除き、病床稼働率が令和3年度の結果を上回っている。

令和4年度病床機能報告 定量基準分析結果【秩父圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		急性期	4病棟	100人/日	167床	62.1%	13.8日	
		回復期	4病棟	75人/日	172床	56.7%	19.2日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	1病棟	37人/日	40床	93.6%	88.7日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	1病棟	53人/日	60床	88.0%	53.9日	
	医療療養病床	慢性期	5病棟	130人/日	225床	50.3%	90.6日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	4病棟	48人/日	112床	47.2%	14.8日	
	休棟・休床中	不明/休棟	0病棟	0人/日	0床	-	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	0人/日	75.0%	-
急性期	100人/日	78.0%	62.1%
回復期	112人/日	90.0%	65.3%
慢性期	183人/日	92.0%	59.5%
不明	48人/日	-	47.2%
合計	443人/日	-	59.8%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	93.6%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	-
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	53.2%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	58.5%
うち産科・小児科を除く有床診療所	-
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

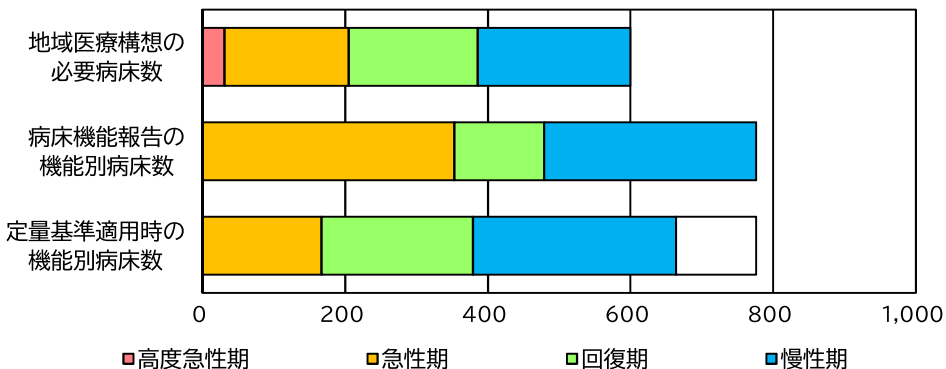
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	0病棟	0人/日	0床	0床	31床	-	-
急性期 計	4病棟	100人/日	167床	353床	174床	62.1%	13.8日
回復期 計	5病棟	112人/日	212床	126床	181床	65.3%	26.0日
慢性期 計	6病棟	183人/日	285床	297床	214床	59.5%	72.7日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	4病棟	48人/日	112床	0床☆	-	47.2%	14.8日
全体	19病棟	443人/日	776床	776床	600床	59.8%	24.2日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	100床
回復期	0床
慢性期	12床
休棟中・無回答	0床
合計	112床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入棟患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

・定量基準を適用した現在の病床数は、地域医療構想の必要病床数に対して、高度急性期を除き概ね水準に近い値となっている。2050年の65歳以上の人口は約2.4万人と現時点から減少が見込まれる点から、現在過剰気味である回復期・慢性期病床の扱いについて広く協議し、長期的な地域の状況に合った医療体制を構築していくことが必要ではないか。

各圏域の定量基準による機能別病床稼働率（令和4年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	74.6%	73.7%	75.3%	84.7%	31.7%	73.4%
南部	65.2%	75.2%	74.5%	74.2%	45.2%	73.0%
南西部	77.8%	77.5%	79.2%	90.8%	47.9%	79.9%
東部	68.2%	71.5%	75.3%	81.6%	24.7%	71.8%
さいたま	78.3%	78.3%	81.7%	88.2%	33.2%	77.6%
県央	78.9%	73.4%	76.6%	83.1%	29.4%	72.2%
川越比企	69.6%	74.0%	78.4%	86.5%	44.2%	75.6%
西部	80.6%	69.4%	70.2%	87.0%	41.6%	72.3%
利根	81.6%	62.8%	68.3%	76.8%	18.1%	61.7%
北部	75.9%	76.8%	75.1%	94.0%	10.9%	76.3%
秩父	-	62.1%	65.3%	59.5%	47.2%	59.8%

各圏域の定量基準による機能別平均在棟日数（令和4年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	8.0日	10.4日	26.2日	144.2日	16.7日	15.9日
南部	7.2日	9.8日	24.4日	116.7日	6.0日	12.8日
南西部	6.7日	9.6日	21.7日	146.1日	8.2日	15.3日
東部	9.4日	10.1日	26.8日	123.8日	14.0日	15.8日
さいたま	7.3日	10.8日	28.5日	172.1日	26.2日	13.9日
県央	6.0日	10.4日	28.9日	131.5日	53.6日	15.1日
川越比企	9.9日	10.6日	27.8日	153.5日	19.1日	17.9日
西部	9.0日	10.3日	30.8日	200.2日	27.6日	18.6日
利根	8.8日	10.1日	26.4日	97.1日	11.5日	16.2日
北部	7.1日	12.2日	23.1日	184.9日	20.1日	17.8日
秩父	-	13.8日	26.0日	72.7日	14.8日	24.2日

令和4年度病床機能報告 各医療機関からの報告内容と定量基準分析結果について

注 ① 「病床数（一般+療養）」、「稼働病床数」、「入院基本料・特定入院料」は、各医療機関から様式1により報告された令和4年7月1日時点のデータ
 ② 区分指標ごとの各医療機関の診療実績は、各医療機関から様式2により報告された令和4年6月診療分かつ7月審査分のデータを基に計算
 （但し、「O」「P」は様式1により報告された令和3年4月1日～令和4年3月31日のデータを基に計算）

資料6-2

※報告内容に差異のある病床のパターン A：報告内容「高度急性期」→「回復期」 B：報告内容「高度急性期」→定量基準「急性期」 C：報告内容「急性期」→定量基準「回復期」

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和4年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般+療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																定量基準分析結果	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色						
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		P
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸項 目	重症患者の 対応に係る 諸項目	全身管理へ の対応に係る 諸項目	手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手術	放射線治 療（レセプ ト枚数）	化学療法 （日数）	予定外の救 急医療入院 の人数		一般病棟用の重 症度、医療・看護 必要度を満たす患 者割合
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%	
南西部	朝霞市	病院	朝霞厚生病院	2階病棟	急性期	回復期	C	38	37	地域一般入院料3								0.11		1.62	0.05				3.43		回復期
南西部	朝霞市	病院	朝霞厚生病院	3階病棟	慢性期	慢性期		47	39	障害者施設等13対1入院基本料																	慢性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人山柳会塩味病院	一般病棟	慢性期	回復期		44	36	地域一般入院料3											0.03				0.19		回復期
南西部	朝霞市	病院	医療法人山柳会塩味病院	回復期病棟	回復期	回復期		33	33	回復期別院"リハビリ"病棟入院料3																	回復期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	HCU	高度急性期	高度急性期		8	8	ハフアエント入院医療管理料1	14.88	4.75	1.38							5.38	15.00	4.75			34.13		高度急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5C病棟	高度急性期	回復期	A	42	42	急性期一般入院料1	1.55									2.88	1.71			0.02	1.98		回復期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5D病棟	高度急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料1	2.00	1.29	0.02							1.24	2.33	1.29		1.10	1.07		高度急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	ICU	高度急性期	高度急性期		10	10	特定集中治療室管理料3	1.40			0.30	0.30			0.90	0.40	7.30	2.10				30.80		高度急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	SCU	高度急性期	高度急性期		8	8	脳卒中アエント入院医療管理料				0.25											36.50		高度急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4A病棟	急性期	回復期	C	46	46	急性期一般入院料1	0.04							0.02		1.13	0.26		0.02		7.85		回復期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4B病棟	急性期	急性期		35	35	急性期一般入院料1			0.06			0.11				2.97	1.09				11.51		急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4C病棟	急性期	回復期	C	27	27	急性期一般入院料1	0.04		0.04							7.89	0.30				7.63		回復期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4D病棟	急性期	不明/休床		32	32	入院料の届出なし	0.78	0.25	0.09							1.44	1.22	0.25		0.06	13.91		不明/休床
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5A病棟	急性期	回復期	C	42	42	急性期一般入院料1										0.33	0.07			0.79	0.05		回復期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5B病棟	急性期	急性期		42	42	急性期一般入院料1	1.31		0.10					0.05		1.12	2.90			0.07	7.40		急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6A病棟	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院料1			0.04					0.02		3.30	0.89			0.02	10.87		急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6B病棟	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料1	0.02							0.02		2.56	0.42		0.02	4.36	9.60		急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6C病棟	慢性期	慢性期		20	20	緩和ケア病棟入院料1															0.25		慢性期
南西部	志木市	病院	医療法人社団浅野病院	2F病棟	慢性期	慢性期		48	42	療養病棟入院料1										2.86	0.02						慢性期
南西部	志木市	病院	医療法人社団浅野病院	3F病棟	慢性期	慢性期		50	50	療養病棟入院料1										3.94	0.10						慢性期
南西部	志木市	病院	医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	3階病棟	急性期	回復期	C	60	60	急性期一般入院料2										0.22	0.28				5.97		回復期
南西部	志木市	病院	医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	2階病棟	回復期	回復期		40	40	回復期別院"リハビリ"病棟入院料1																	回復期
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館4階病棟	慢性期	慢性期		25	25	療養病棟入院料1																	慢性期
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館5階病棟	慢性期	回復期		28	28	地域包括ケア病棟入院料4											0.04			0.04		5.8	回復期
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館6階病棟	慢性期	慢性期		30	30	療養病棟入院料1											0.07						慢性期
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館7階病棟	慢性期	慢性期		37	37	療養病棟入院料1														0.03			慢性期
南西部	和光市	病院	坪田和光病院	一般病棟	急性期	回復期	C	51	51	地域一般入院料2										0.02	0.06				0.29		回復期
南西部	和光市	病院	医療法人泰一会和光リハビリテーション病院	回復期	回復期	回復期		60	51	回復期別院"リハビリ"病棟入院料1																	回復期
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館7階病棟（回復期/リハビリ病棟）	回復期	回復期		48	48	回復期別院"リハビリ"病棟入院料1																	回復期
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館4階病棟（療養病棟）	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院料1								0.02			15.17			0.02			慢性期
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館5階病棟（特殊疾患病棟）	慢性期	慢性期		48	48	特殊疾患病棟入院料1																	慢性期
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館6階病棟（療養病棟）	慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料1																	慢性期
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館8階病棟（療養病棟）	慢性期	慢性期		52	52	療養病棟入院料1																	慢性期
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	2F	急性期	急性期		43	43	急性期一般入院料5	1.16									0.81	1.28			0.05	1.16	36.6	急性期
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	3F	急性期	急性期		43	38	急性期一般入院料5	0.03										0.61	0.11			1.74	38.6	急性期
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	4F	急性期	急性期		23	20	地域包括ケア入院医療管理料4														0.05	34.5		急性期

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和4年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数(一般+療養)	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手 術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者の 対応に係 る諸項目	全身管理へ の対応に係 る諸項目	手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手 術	放射線治 療(レセ プト枚数)	化学療法 (日数)	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病棟用の重 症度・医療・看護 必要度を満たす患 者割合		
											2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%		
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	4階HCU病棟	高度急性期	高度急性期		10	10	ル付アエト入院医療管理料1	3.70	1.30	0.90		0.70	1.00		0.80	0.90	7.30	6.30	1.30			42.10		高度急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	7階感染病棟	高度急性期	高度急性期		8	8	ル付アエト入院医療管理料1															86.00		高度急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	4階病棟	急性期	高度急性期		25	24	急性期一般入院料2						0.75				0.54	0.92				6.04	52.4	高度急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	6階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料2	0.27		0.15			0.02		0.06		0.31	0.46				0.02	7.38	36.6	急性期
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	7階病棟	急性期	急性期		40	8	急性期一般入院料1								0.13		0.75					71.48	48.3	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	8階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料2	0.67	0.48	0.06							3.92	1.17	0.48		0.60	14.15	39.0	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	9階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料2	0.63									0.67	1.48			0.10	8.65	36.2	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	5階病棟	慢性期	慢性期		46	46	障害者施設等10対1入院基本料								0.02		1.28					0.02	0.02		慢性期
南西部	三芳町	病院	ふじみの救急病院	地域一般入院	急性期	急性期		38	38	地域一般入院料2						0.03		0.08	0.05	0.42	1.16				12.97		急性期	
南西部	富士見市	病院	みずほ台病院	一般病棟	急性期	急性期		60	57	急性期一般入院料4	0.12	0.05	0.02					0.04		1.91	0.40	0.05		0.12	2.82	43.2	急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人恵愛会恵愛病院	産婦人科病棟	急性期	急性期		60	60	急性期一般入院料6										0.05	2.72							急性期
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	HCU	高度急性期	高度急性期		7	0	ル付アエト入院医療管理料1																		高度急性期
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	SCU	高度急性期	高度急性期		5	5	ル付アエト入院医療管理料1	4.20									0.20	4.20					13.00		高度急性期
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	ICU	高度急性期	高度急性期		6	6	ル付アエト入院医療管理料1	1.00	0.17						0.67	0.67	9.50	1.00	0.17			16.67		高度急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館3階	高度急性期	高度急性期		35	35	急性期一般入院料1						0.71				0.43	1.43				0.03	2.80	50.1	高度急性期
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	CCU	高度急性期	高度急性期		5	5	ル付アエト入院医療管理料1						1.80		0.20	0.80	6.20	2.20					56.00		高度急性期
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館4階	急性期	不明/休床		35	25	入院料の届出なし								0.20		0.28	0.04				35.08		不明/休床	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館5階	急性期	不明/休床		41	30	入院料の届出なし	0.27		0.13					0.07		0.13	0.43				6.87		不明/休床	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館6階	急性期	高度急性期		43	43	急性期一般入院料1								0.37		0.98					2.65	17.2	高度急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館7階	急性期	回復期	C	42	41	急性期一般入院料1														0.05	0.41		回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館5階	急性期	急性期		37	35	急性期一般入院料1	0.14									0.40	0.37				3.69	41.7	急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館6階	急性期	急性期		45	32	小児入院医療管理料2	0.31	0.03								0.09	0.31	0.03			9.84		急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館4階	回復期	回復期		40	40	回復期(ル付アエト)病棟入院料1														0.03			回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	2階一般	急性期	急性期		40	40	急性期一般入院料4	0.08									0.78	0.28				8.53	36.5	急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	3階一般	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料4										1.27	0.06				2.06	33.0	急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	地域包括	急性期	回復期	C	48	48	地域包括ケア病棟入院料1											0.08				2.65		回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人社団サンセリテ三浦病院	緩和ケア	慢性期	慢性期		59	59	緩和ケア病棟入院料1															0.41	2.71		慢性期
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	2B病棟	急性期	急性期		58	45	急性期一般入院料4								0.02		0.78	0.36			0.33	4.02	43.6	急性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3A病棟	急性期	回復期	C	53	45	急性期一般入院料4	0.13	0.09	0.02					0.02	0.13	2.96	0.80	0.09		0.27	4.96	24.3	回復期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	4A病棟	急性期	急性期		52	45	急性期一般入院料4	0.64		0.18							2.04	1.09			1.16		17.3	急性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	4B病棟	急性期	急性期		31	25	急性期一般入院料4	0.12										0.72			2.40	0.20	23.8	急性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3C病棟	急性期	慢性期		45	44	障害者施設等15対1入院基本料										1.36				3.05			慢性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3B病棟	慢性期	慢性期		45	42	療養病棟入院料1										0.71	0.02							慢性期
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	別3回復期(ル付アエト)病棟	回復期	回復期		29	29	回復期(ル付アエト)病棟入院料2																		回復期
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	新2療養病棟	慢性期	慢性期		39	39	療養病棟入院料1										1.44	0.08							慢性期
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	本2障害者病棟	慢性期	慢性期		60	60	障害者施設等10対1入院基本料											21.68	0.02						慢性期
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	3南特殊疾患病棟	慢性期	慢性期		29	29	特殊疾患病棟入院料1																		慢性期
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	本5療養病棟	慢性期	慢性期		46	46	療養病棟入院料1										0.28								慢性期
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	3北療養病棟	慢性期	慢性期		28	28	療養病棟入院料1										0.04	0.11							慢性期
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	別2地域包括ケア病棟	慢性期	不明/休床		30	30	地域包括ケア病棟入院料2																		不明/休床
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人社団草芳会三芳野第2病院	一般病棟	急性期	回復期	C	45	30	急性期一般入院料4										1.67						21.5		回復期

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和4年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数(一般+療養)	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手 術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加 算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸 項目	重症患者の 対応に係 る諸項目	全身管理へ の対応に係 る諸項目	手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手 術	放射線治 療(レセ プト枚数)	化学療法 (日数)	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病棟用の重 症度、医療・看護 必要度を満たす患 者割合		
2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%													
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	HCU	高度急性期	高度急性期		8	8	ハフアエクト入院医療管理料1															28.25		高度急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A4病棟	急性期	急性期		32	32	急性期一般入院料1			0.09						0.63	0.31					0.75	12.50	36.6	急性期
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	C2病棟	急性期	急性期		57	57	急性期一般入院料1	0.21	0.04	0.11						0.98	0.63	0.04				0.67	8.18	31.5	急性期
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F2病棟	急性期	高度急性期		52	52	急性期一般入院料1	1.08	0.58	0.21				0.04	0.21	6.19	1.37	0.58	0.02	0.62	7.21	40.6		高度急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F3病棟	急性期	急性期		46	46	急性期一般入院料1	0.02				0.35		0.07		2.11	0.91				0.09	7.30	34.8	急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F4病棟	急性期	急性期		55	55	急性期一般入院料1	0.73		0.02						0.62	0.91					4.40	52.9	急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	C3病棟	急性期	回復期	C	48	48	急性期一般入院料1			0.13				0.04		0.25	0.52				0.42	6.92	25.9	回復期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A5病棟	急性期	急性期		32	32	急性期一般入院料1	0.22								1.09	0.38				1.41	10.78	31.7	急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A6病棟	慢性期	慢性期		34	34	障害者施設等10対1入院基本料									0.03					0.29			慢性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A7病棟	急性期	回復期	C	38	38	地域包括ケア病棟入院料2	0.47								0.76						0.03	7.9	回復期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座病院	2階病棟	回復期	回復期		48	48	回復期別居"リ-ソ"病棟入院料1																	回復期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座病院	3階病棟	回復期	回復期		48	48	回復期別居"リ-ソ"病棟入院料1														0.02			回復期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座病院	4階病棟	回復期	回復期		32	32	地域包括ケア病棟入院料1									0.03						3.22	20.3	回復期	
南西部	新座市	病院	医療法人向英会高田整形外科病院	一般	急性期	回復期	C	40	30	地域一般入院料3	0.23							0.73	0.23				0.53	0.50			回復期	
南西部	新座市	病院	静風荘病院	3階病棟	慢性期	慢性期		48	35	障害者施設等13対1入院基本料															0.03		慢性期	
南西部	新座市	病院	静風荘病院	4階病棟	慢性期	慢性期		38	32	障害者施設等13対1入院基本料									3.72						0.03		慢性期	
南西部	新座市	病院	静風荘病院	5階病棟	慢性期	慢性期		38	35	障害者施設等13対1入院基本料																	慢性期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	2号館2階	急性期	回復期	C	56	53	地域一般入院料1								1.19	0.17				0.08	1.55			回復期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	本館2階	急性期	回復期	C	49	49	地域一般入院料1	0.16	0.02	0.04					2.12	0.41	0.02			0.20	7.02			回復期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	本館3階	急性期	回復期	C	52	52	地域一般入院料1	0.08						0.02		6.46	0.29			0.02	5.60			回復期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	2号館3階	回復期	回復期		42	42	地域包括ケア入院医療管理料1	0.02							0.81	0.07					0.90			回復期	
南西部	新座市	病院	北野病院	11	慢性期	慢性期		28	28	療養病棟入院料1																		慢性期
南西部	新座市	病院	北野病院	22	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料1							0.02											慢性期
南西部	新座市	病院	北野病院	33	慢性期	慢性期		60	60	療養病棟入院料1									0.02									慢性期
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3A病棟NICU	高度急性期	高度急性期		12	12	新生児特定集中治療室管理料2							0.50		2.67	0.17					0.08		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3B病棟MFICU	高度急性期	高度急性期		3	3	産科周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)										0.33							高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4N病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	ハフアエクト入院医療管理料1	1.50				0.75				6.75	1.75					6.75		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5N病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	ハフアエクト入院医療管理料1	7.25	4.75	3.25						14.25	7.25	4.75				10.25		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5B病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	ハフアエクト入院医療管理料1															20.25		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3A病棟GCU	高度急性期	高度急性期		15	6	新生児治療回復室入院医療管理料															0.17		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4B病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	ハフアエクト入院医療管理料1							0.25		11.00	0.50					13.00		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4A病棟ICU・CCU	高度急性期	高度急性期		8	8	救命救急入院料2	3.13				0.13	1.13		1.88	9.63	45.88	5.38				17.25		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4A病棟HCU	高度急性期	高度急性期		16	12	救命救急入院料1	0.25	0.25					0.25	0.08	7.58	0.67	0.25				30.33		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4N病棟	急性期	高度急性期		40	40	急性期一般入院料1	0.93		0.03		0.05				0.75	1.05				0.03	7.85	36.5	高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4S病棟	急性期	回復期	C	51	51	急性期一般入院料1	0.31		0.04						1.12	0.86		0.02	0.49	6.51	28.9		回復期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5N病棟	急性期	急性期		46	46	急性期一般入院料1	0.98	0.46	0.43						6.63	1.61	0.46	0.13	0.24	7.61	41.8		急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5S病棟	急性期	急性期		55	55	急性期一般入院料1	0.53	0.36	0.27				0.02		3.29	1.58	0.36	0.07	0.73	9.31	42.4		急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6N病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院料1	0.94	0.02	0.20						1.70	2.68	0.02	0.22	0.30	7.12	35.9		急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6S病棟	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料1	1.37								0.60	1.62					5.33	39.7	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3B病棟	急性期	急性期		40	40	急性期一般入院料1	0.13	0.05	0.03					0.13	0.80	0.05	0.03			6.13	48.9		急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4B病棟	急性期	急性期		44	44	急性期一般入院料1	0.34					0.14		0.02	0.18	1.00	0.73			0.02	8.36	35.8	急性期	

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和4年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数(一般+療養)	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																			定量基準分析結果	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色									
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P				
											全身麻酔 下手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手術	悪性腫瘍 手術	超急性期 脳卒中加算	脳血管内 手術	経皮的冠 動脈形成 術	救急搬送 診療料	救急医療 に係る諸項 目	重症患者の 対応に係る 諸項目	全身管理へ の対応に係る 諸項目	手術	胸腔鏡・腹 腔鏡下手術	放射線治 療(レセプ ト枚数)	化学療法 (日数)	予定外の救 急医療入院 の人数	一般病棟用の重 症度・医療・看護 必要度を満たす患 者割合				
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5A病棟	急性期	急性期		40	34	小児入院医療管理料2	0.44	0.09							2.38	0.56	0.09			4.94		急性期				
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5B病棟	急性期	急性期		42	35	急性期一般入院料1	0.03	0.03					0.03		1.54	0.03	0.03	0.03	0.26	8.46	32.8	急性期				
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6B病棟	急性期	慢性期		20	20	緩和ケア病棟入院料2														7.75		慢性期				
南西部	朝霞市	診療所	阿部産婦人科医院 阿部レディースクリニック		急性期	急性期		8	8	有床診療所入院基本料										0.13							急性期			
南西部	朝霞市	診療所	あさか産婦人科		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料	0.11									1.68							急性期			
南西部	朝霞市	診療所	朝霞台駅前みなみ耳鼻咽喉科		急性期	不明/休床		3	3	有床診療所入院基本料																	不明/休床			
南西部	朝霞市	診療所	医療法人社団宏友会 栗原整形外科		急性期	不明/休床		2	0	有床診療所入院基本料																	不明/休床			
南西部	志木市	診療所	志木呼吸器科クリニック		急性期	不明/休床		4	4	有床診療所入院基本料																	不明/休床			
南西部	富士見市	診療所	医療法人根本外科整形外科		急性期	急性期		18	14	有床診療所入院基本料	1.93								1.07	2.07							急性期			
南西部	富士見市	診療所	医療法人実幸会栗原医院		急性期	回復期	C	19	19	有床診療所入院基本料										0.05							回復期			
南西部	富士見市	診療所	にしじまクリニック		急性期	急性期		18	18	有床診療所入院基本料										2.89							急性期			
南西部	富士見市	診療所	医療法人社団かいしん会ますなが医院		急性期	不明/休床		19	8	有床診療所入院基本料																	不明/休床			
南西部	ふじみ野市	診療所	医療法人久治会せきや眼科		急性期	急性期		12	10	有床診療所入院基本料										5.90							急性期			
南西部	ふじみ野市	診療所	ミュージレディスクリニック		急性期	急性期		1	1	有床診療所入院基本料										4.00							急性期			
南西部	新座市	診療所	医療法人慶桜会大塚産婦人科小児科医院		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料										1.11							急性期			
南西部	新座市	診療所	牧田産婦人科医院		急性期	急性期		5	5	有床診療所入院基本料																	急性期			

(単位:床)

圏域	医療機能	令和4年度 報告結果 (A)	令和4年度 定量基準分析結果 (A')	R4.7.2以降 整備(予定)病床 (B)	A+B 報告ベース (C)	A'+B 定量基準分析ベース (C')	2025年 必要病床数 (D)	比較	
								C-D	C'-D
県計	高度急性期	6,357	5,893	286	6,643	6,179	5,528	1,115	651
	急性期	24,770	18,666	982	25,752	19,648	17,954	7,798	1,694
	回復期	6,216	12,752	1,414	7,630	14,166	16,717	△9,087	△2,551
	慢性期	12,165	12,197	565	12,730	12,762	14,011	△1,281	△1,249
	休棟・未報告等 計	1,707	1,707	-	1,707	1,707	-	-	-
		51,215	51,215	3,247	54,462	54,462	54,210	252	252
南部	高度急性期	257	527	24	281	551	609	△328	△58
	急性期	2,888	1,754	15	2,903	1,769	1,922	981	△153
	回復期	500	1,329	346	846	1,675	1,623	△777	52
	慢性期	721	756	54	775	810	871	△96	△61
	休棟・未報告等 計	63	63	-	63	63	-	-	-
		4,429	4,429	439	4,868	4,868	5,025	△157	△157
南西部	高度急性期	260	378	0	260	378	425	△165	△47
	急性期	2,769	1,739	9	2,778	1,748	1,685	1,093	63
	回復期	420	1,339	63	483	1,402	1,356	△873	46
	慢性期	1,219	1,212	12	1,231	1,224	1,311	△80	△87
	休棟・未報告等 計	6	6	-	6	6	-	-	-
		4,674	4,674	84	4,758	4,758	4,777	△19	△19
東部	高度急性期	218	732	10	228	742	831	△603	△89
	急性期	4,584	3,118	224	4,808	3,342	2,783	2,025	559
	回復期	1,089	1,975	563	1,652	2,538	2,734	△1,082	△196
	慢性期	1,661	1,727	333	1,994	2,060	2,587	△593	△527
	休棟・未報告等 計	163	163	-	163	163	-	-	-
		7,715	7,715	1,130	8,845	8,845	8,935	△90	△90
さいたま	高度急性期	1,593	1,238	200	1,793	1,438	1,039	754	399
	急性期	3,165	3,081	600	3,765	3,681	2,770	995	911
	回復期	689	1,151	0	689	1,151	2,301	△1,612	△1,150
	慢性期	1,413	1,390	0	1,413	1,390	1,554	△141	△164
	休棟・未報告等 計	209	209	-	209	209	-	-	-
		7,069	7,069	800	7,869	7,869	7,664	205	205
県央	高度急性期	587	401	0	587	401	344	243	57
	急性期	1,599	1,239	16	1,615	1,255	1,273	342	△18
	回復期	275	801	39	314	840	1,120	△806	△280
	慢性期	831	851	0	831	851	797	34	54
	休棟・未報告等 計	125	125	-	125	125	-	-	-
		3,417	3,417	55	3,472	3,472	3,534	△62	△62
川越比企	高度急性期	1,790	1,021	0	1,790	1,021	802	988	219
	急性期	2,151	2,082	36	2,187	2,118	2,260	△73	△142
	回復期	1,073	1,881	114	1,187	1,995	2,518	△1,331	△523
	慢性期	1,949	1,979	146	2,095	2,125	2,072	23	53
	休棟・未報告等 計	170	170	-	170	170	-	-	-
		7,133	7,133	296	7,429	7,429	7,652	△223	△223
西部	高度急性期	844	793	28	872	821	694	178	127
	急性期	3,163	2,320	82	3,245	2,402	2,249	996	153
	回復期	836	1,769	233	1,069	2,002	2,370	△1,301	△368
	慢性期	2,076	2,037	20	2,096	2,057	2,638	△542	△581
	休棟・未報告等 計	635	635	-	635	635	-	-	-
		7,554	7,554	363	7,917	7,917	7,951	△34	△34
利根	高度急性期	379	557	24	403	581	426	△23	155
	急性期	2,225	1,596	0	2,225	1,596	1,580	645	16
	回復期	765	1,271	56	821	1,327	1,448	△627	△121
	慢性期	1,012	957	0	1,012	957	1,176	△164	△219
	休棟・未報告等 計	171	171	-	171	171	-	-	-
		4,552	4,552	80	4,632	4,632	4,630	2	2
北部	高度急性期	429	246	0	429	246	327	102	△81
	急性期	1,873	1,470	0	1,873	1,470	1,258	615	212
	回復期	443	1,024	0	443	1,024	1,066	△623	△42
	慢性期	986	991	0	986	991	791	195	200
	休棟・未報告等 計	150	150	-	150	150	-	-	-
		3,881	3,881	0	3,881	3,881	3,442	439	439
秩父	高度急性期	0	0	0	0	0	31	△31	△31
	急性期	353	267	0	353	267	174	179	93
	回復期	126	212	0	126	212	181	△55	31
	慢性期	297	297	0	297	297	214	83	83
	休棟・未報告等 計	15	15	-	15	15	-	-	-
		791	791	0	791	791	600	191	191

※(A)令和4年度報告結果及び(A')令和4年度定量基準分析結果には、「新型コロナウイルス感染症に係る病床設置の医療法上の手続の取扱いについて」(令和2年4月10日医政発0410第15号)等に基づき、新型コロナウイルス感染症対策のために特例的に増床した病床数等は含まれていない。

※(A')令和4年度定量基準分析結果においては、入院料に関する報告がない休棟等について便宜的に病床機能報告で報告のあった病床機能で集計している。

※「R4.7.2以降整備(予定)病床(B)」は、埼玉県地域保健医療計画(第6次及び第7次)に基づく病床整備の公募により整備を進めるものとされた病床のうち、R3.7.2以降に許可を受けて整備された病床及び未整備の病床の数。

※「R4.7.2以降整備(予定)病床(B)」のうち、さいたま圏域に整備予定の「順天堂大学医学部附属埼玉国際先進センター(800床)」の医療機能が未定であるため、便宜的に高度急性期200床、急性期600床として計上。

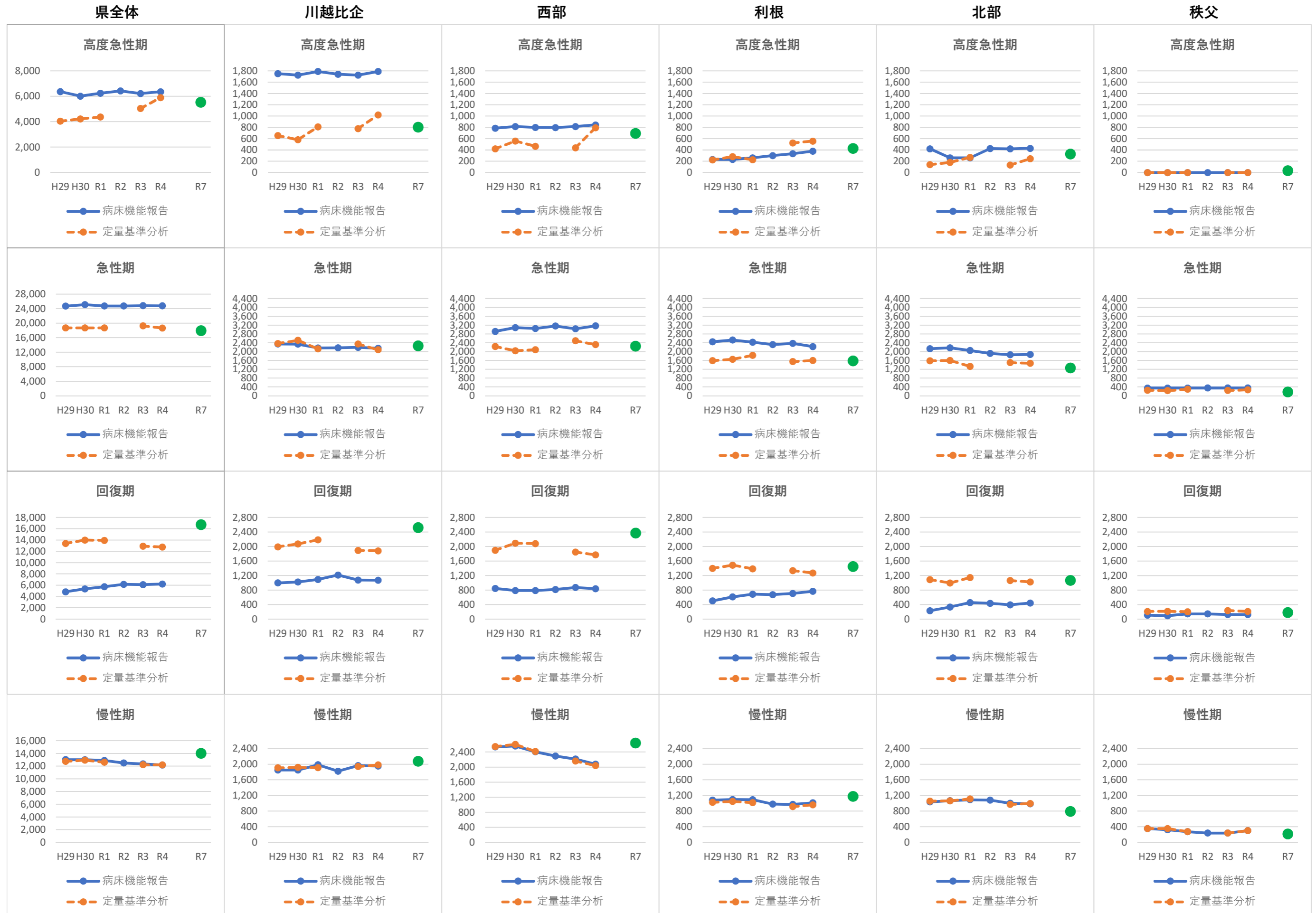
資料6-4 医療機能別病床数の年度別推移について

●は2025年の必要病床数

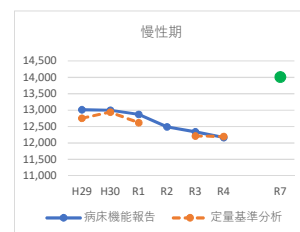
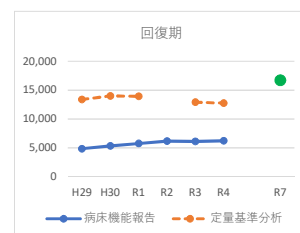
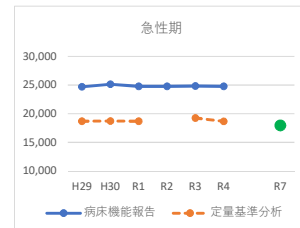
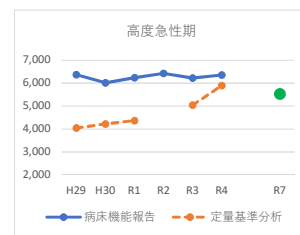


医療機能別病床数の年度別推移について

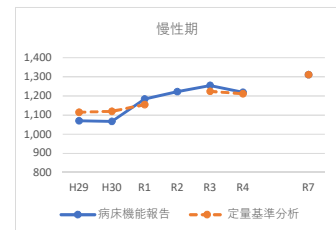
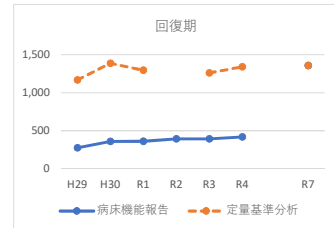
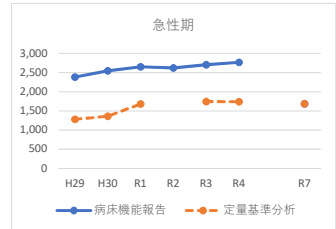
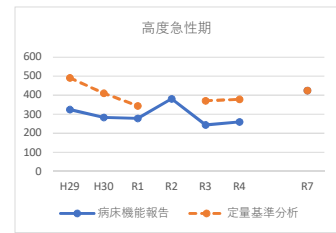
●は2025年の必要病床数



高度急性期							
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
病床機能報告	6,365	6,012	6,238	6,423	6,219	6,357	
定量基準分析	4,044	4,223	4,368		5,041	5,893	5,528
急性期							
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
病床機能報告	24,702	25,126	24,763	24,764	24,820	24,770	
定量基準分析	18,678	18,704	18,694		19,248	18,666	17,954
回復期							
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
病床機能報告	4,830	5,336	5,739	6,155	6,092	6,216	
定量基準分析	13,379	13,997	13,935		12,912	12,752	16,717
慢性期							
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R7
病床機能報告	13,013	12,998	12,874	12,489	12,340	12,165	
定量基準分析	12,752	12,939	12,617		12,214	12,197	14,011

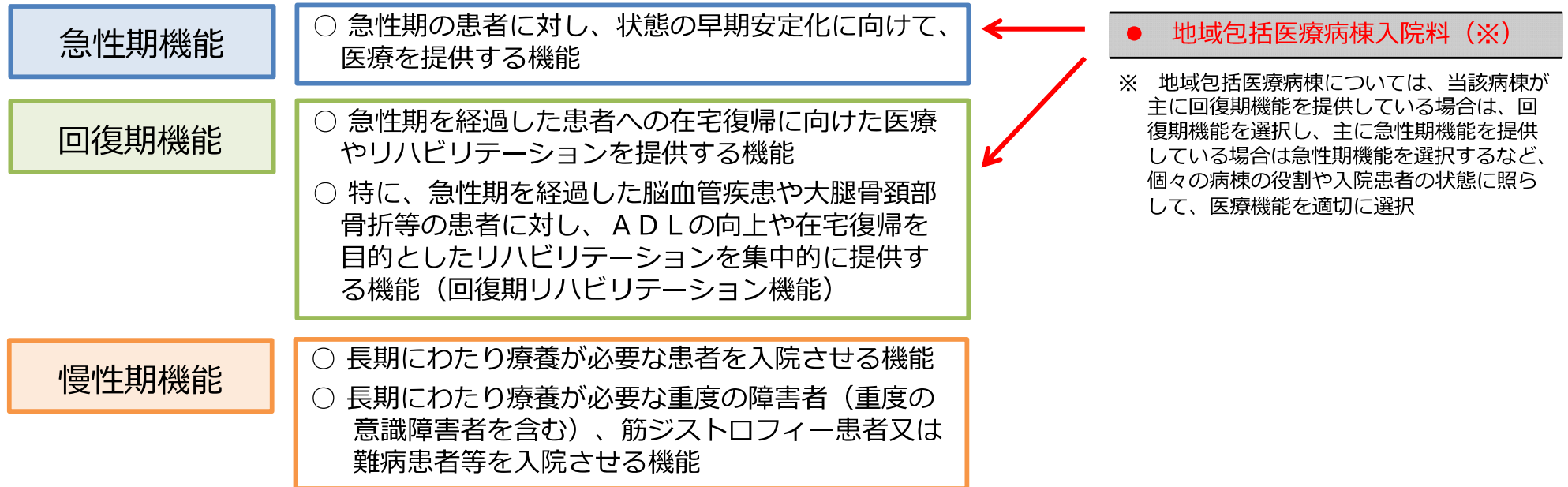


高度急性期		H29	H30	R1	R2	R3	R4		R7
病床機能報告		325	283	278	381	244	260		425
定量基準分析		491	410	344		371	378		425
急性期		H29	H30	R1	R2	R3	R4		R7
病床機能報告		2,385	2,548	2,651	2,620	2,706	2,769		1,685
定量基準分析		1,282	1,360	1,680		1,745	1,739		1,685
回復期		H29	H30	R1	R2	R3	R4		R7
病床機能報告		275	360	362	394	394	420		1,356
定量基準分析		1,168	1,386	1,296		1,259	1,339		1,356
慢性期		H29	H30	R1	R2	R3	R4		R7
病床機能報告		1,070	1,067	1,184	1,223	1,255	1,219		1,311
定量基準分析		1,115	1,120	1,155		1,224	1,212		1,311



- 令和6年度診療報酬改定において、高齢者の救急患者をはじめとした急性疾患等の患者に対する適切な入院医療を推進する観点から、高齢者の救急患者等に対して、一定の体制を整えた上でリハビリテーション、栄養管理、入退院支援、在宅復帰等の機能を包括的に提供することについて、新たな特定入院料として「地域包括医療病棟入院料」が創設された。
- 当該入院料については、病棟が主に回復期機能を提供している場合は回復期機能を選択し、主に急性期機能を提供している場合は急性期機能を選択するなど、個々の病棟の役割や入院患者の状態に照らして、医療機能を適切に選択することとしてはどうか。

<対応案（イメージ）>



令和5年度外来機能報告結果

1 回答状況

【様式1】

区分	報告数	対象数	回答率
病院	290	293	99.0%
有床診療所	156	178	87.6%
計	446	471	94.7%

【様式2】

区分	報告数	対象数	回答率
病院	289	293	98.6%
有床診療所	154	178	86.5%
計	443	471	94.1%

2 紹介受診重点外来の基準と意向の合致状況

① 基準満たす・意向あり	病院	23
	有床診療所	0
	小計	23
② 基準満たす・意向なし	病院	3
	有床診療所	2
	小計	5
③ 基準満たさない・意向あり	病院	8
	有床診療所	0
	小計	8
④ 基準満たさない・意向なし	病院	256
	有床診療所	154
	小計	410
①～④ 合計		446

参考：二次医療圏別の基準と意向の合致状況内訳

	①	②	③	④	計
南部	3	1	1	31	36
南西部	1	0	0	37	38
東部	1	1	3	63	68
さいたま	5	1	0	51	57
県央	3	0	0	25	28
川越比企	1	1	2	56	60
西部	3	0	1	56	60
利根	3	0	1	39	43
北部	3	1	0	42	46
秩父	0	0	0	10	10
計	23	5	8	410	446

①	基準満たす・意向あり
②	基準満たす・意向なし
③	基準満たさない・意向あり
④	基準満たさない・意向なし

○紹介受診重点医療機関一覧（令和6年7月1日現在）

No	種別	圏域	市町村	医療機関名	備考
1	病院	南部	川口市	川口市立医療センター	
2	病院	南部	川口市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会川口総合病院	
3	病院	南部	川口市	かわぐち心臓呼吸器病院	
4	病院	南部	戸田市	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	
5	病院	南西部	和光市	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	
6	病院	東部	春日部市	春日部市立医療センター	
7	病院	東部	草加市	草加市立病院	新規
8	病院	東部	越谷市	獨協医科大学埼玉医療センター	
9	病院	東部	越谷市	越谷市立病院	新規
10	病院	さいたま	さいたま市	さいたま市民医療センター	
11	病院	さいたま	さいたま市	医療法人社団協友会彩の国東大宮メディカルセンター	
12	病院	さいたま	さいたま市	さいたま赤十字病院	
13	病院	さいたま	さいたま市	さいたま市立病院	
14	病院	さいたま	さいたま市	自治医科大学附属さいたま医療センター	
15	病院	県央	上尾市	医療法人社団愛友会上尾中央総合病院	
16	病院	県央	北本市	北里大学メディカルセンター	
17	病院	県央	伊奈町	埼玉県立がんセンター	
18	病院	川越比企	川越市	埼玉医科大学総合医療センター	
19	病院	川越比企	鶴ヶ島市	医療法人関越病院	
20	病院	川越比企	毛呂山町	埼玉医科大学病院	
21	病院	西部	所沢市	防衛医科大学校病院	新規
22	病院	西部	所沢市	独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院	
23	病院	西部	狭山市	社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院	
24	病院	西部	日高市	埼玉医科大学国際医療センター	
25	病院	利根	加須市	社会福祉法人恩賜財団済生会支部埼玉県済生会加須病院	
26	病院	利根	行田市	社会医療法人社団幸会行田総合病院	
27	病院	利根	羽生市	医療法人徳洲会羽生総合病院	
28	病院	利根	久喜市	新久喜総合病院	
29	病院	北部	熊谷市	社会医療法人熊谷総合病院	
30	病院	北部	熊谷市	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	
31	病院	北部	深谷市	深谷赤十字病院	